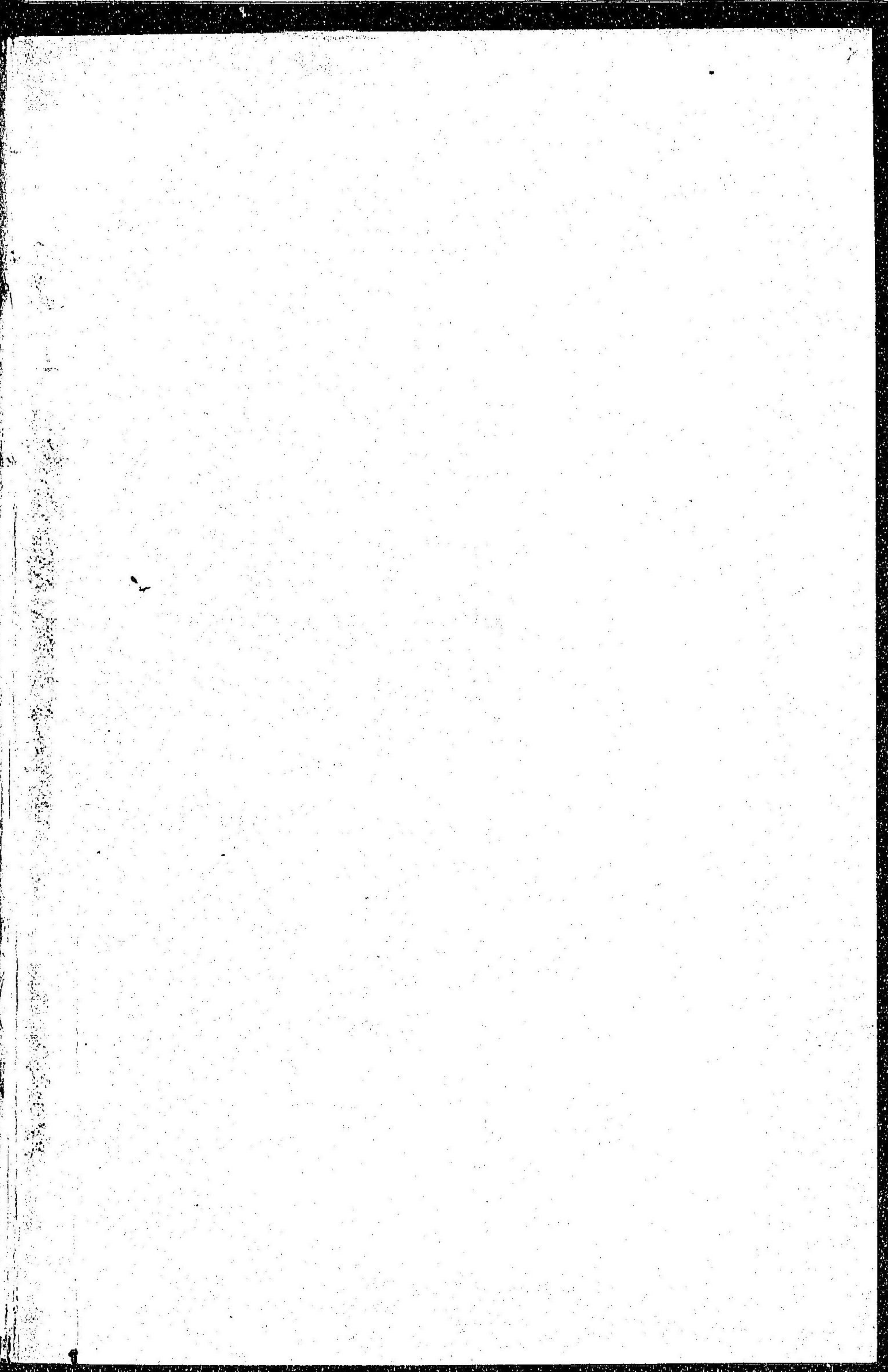
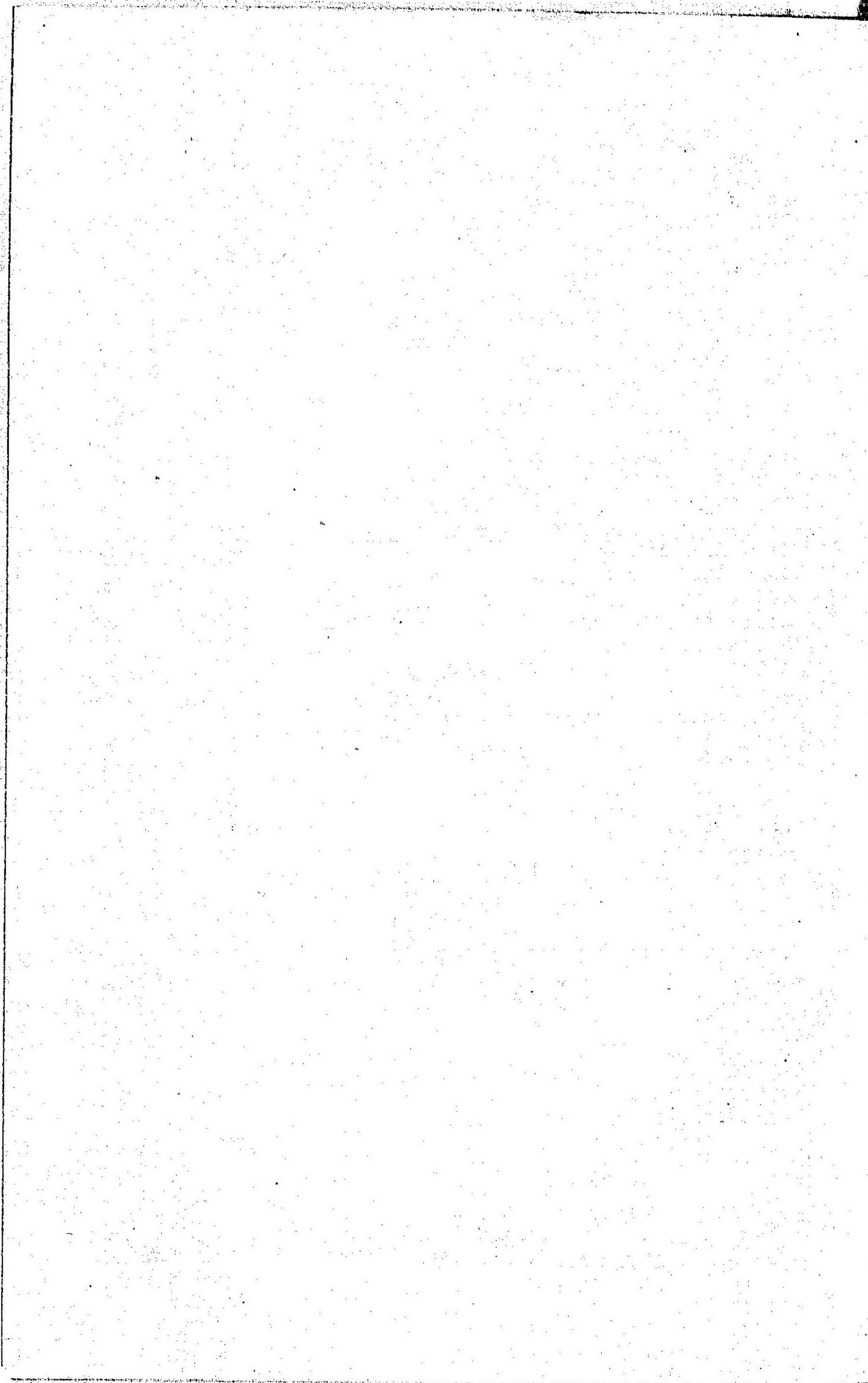


刑法附則  
治罪法  
略解

全



特 14  
258

橋爪貫一略解

刑法  
附刑  
法附  
則  
略解

明治十五年十月印行

刑法略解目錄

第一編 總則

第一章 法例

第二章 刑例

第一節 刑名

第二節 主刑處分

第三節 附加刑處分

第四節 徵償處分

第五節 刑期計算

第六節 假出獄

第七節 期滿免除

第八節 復權

第三章 加減例

第四章 不論罪及ビ減輕

第一節 不論罪及ビ宥恕減輕

第二節 自首減輕

第三節 酌量減輕

第五章 再犯加重

第六章 加減順序

第七章 數罪俱發

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第二節 從犯

第九章 未遂犯罪

第十章 親屬例

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

第二節 外患ニ關スル罪

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 凶徒聚衆ノ罪

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

- 第三節 囚徒逃走ノ罪及ビ罪人ヲ藏匿スル罪
- 第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪
- 第五節 私人ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ビ所有スル罪
- 第六節 往來通信ヲ妨害スル罪
- 第七節 人ノ住所ヲ侵スル罪
- 第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪
- 第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪
- 第四章 信用ヲ害スル罪
  - 第一節 貨幣ヲ偽造スル罪
  - 第二節 官印ヲ偽造スル罪

- 第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪
- 第四節 私印私書ヲ偽造スル罪
- 第五節 免狀鑑札及ビ疾病證書ヲ偽造スル罪
- 第六節 偽證ノ罪
- 第七節 度量衡ヲ偽造スル罪
- 第八節 身分ヲ詐稱スル罪
- 第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪
- 第五章 健康ヲ害スル罪
  - 第一節 阿片烟ニ關スル罪
  - 第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪
  - 第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第四節 危害品及健康ヲ害ス可キ物品製造

ノ規則ニ關スル罪

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及藥劑ヲ販

賣スル罪

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

第六章 風俗ヲ害スル罪

第七章 死屍ヲ毀棄シ及墳墓ヲ發掘スル罪

第八章 商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二節 毆打創傷ノ罪

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及不論罪

第四節 過失殺傷ノ罪

第五節 自殺ニ關スル罪

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第七節 脅迫ノ罪

第八節 墮胎ノ罪

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第十二節 誣告及ビ誹毀ノ罪

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第二節 強盜ノ罪

第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪

第四節 家資分散ニ關スル罪

第五節 詐欺取財ノ罪及ビ受寄財物ニ關スル

罪

第六節 贓物ニ關スル罪

第七節 放火失火ノ罪

第八節 決水ノ罪

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ビ動植物ヲ害ス

ル罪

第四編 違警罪



刑法略解

東京

橋爪貫一略解

第一編 總則（一） 總則ヲ取扱フ總則ノ規則ヲ云フ

第一章 法例（一） 法例ヲ云フ

第一條 凡法律ハ國家ノ掟ニテ於テ罰スベキ罪別テ三種（一） 次ノ重罪輕罪ト爲ス

種次ノ重罪輕罪ト爲ス

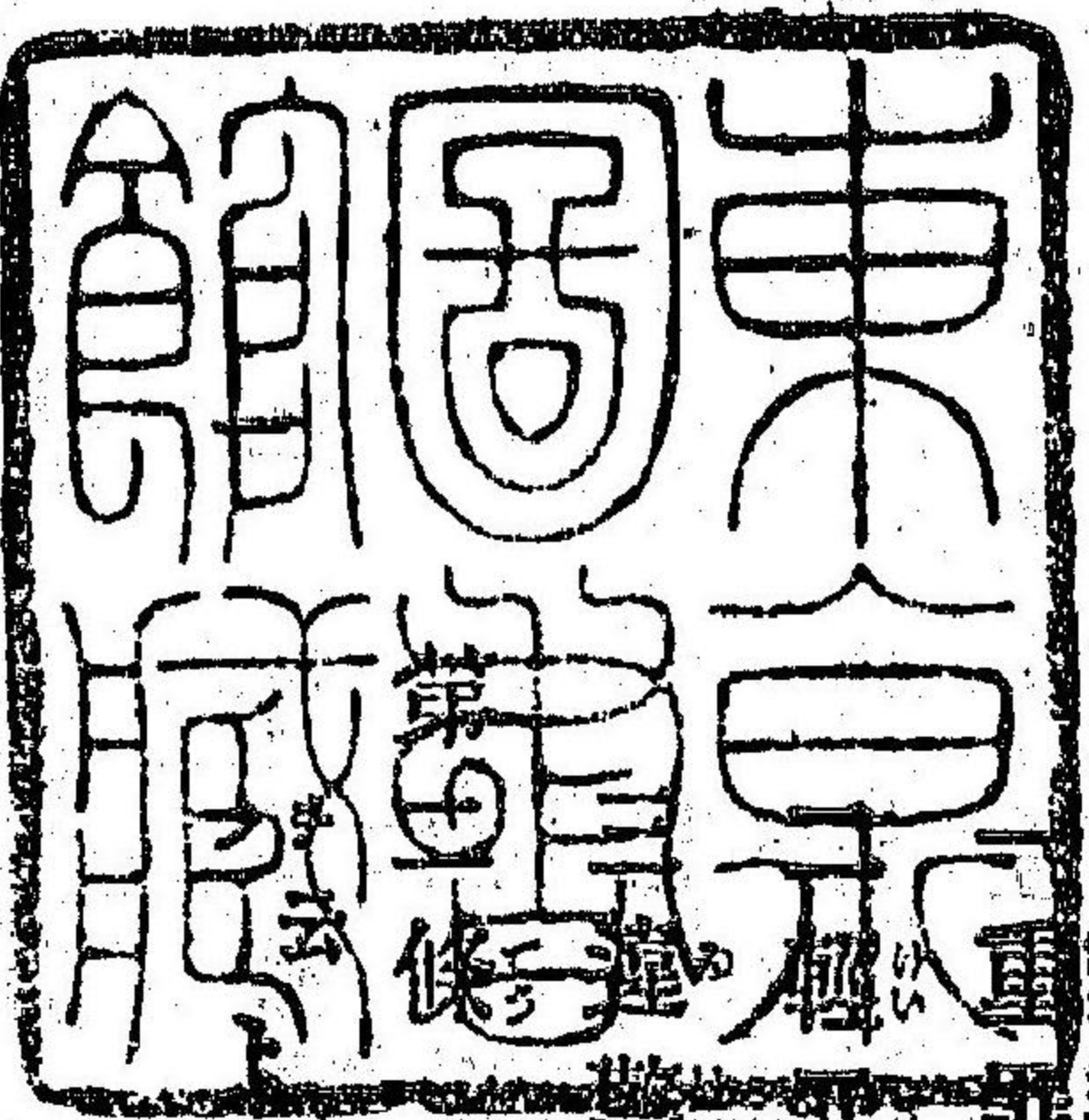
罪猶ホ次ノ第七條ヲ見ルヘシ

罪ホ次ノ第八條ヲ見ルヘシ

罪ホ次ノ第九條ヲ見ルヘシ

法律ニ正條簡條ニ當ルヘキナキ者ハ何等ノ所爲行

雖モ罰スルヲ得ズ



第三條 法律ハ頒布觸レ示スヲ云フ 以前ニ係ル犯罪ニ

及ボスヲ得ズ 若シ所犯ノ罪 頒布以前ニ在テ未タ判決云フ裁許ナ

經ザル者ハ新舊新ハ此刑法ヲ云ヒ 對照照シ合スル也

輕キニ從テ處斷ス

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律 陸海軍ノ軍刑ヲ

以テ論スベキ者ニ適用スルヲ得ズ

第五條 此刑法ニ正條出ツナクシテ他ノ法律規則即

出版統彙集會海關ニ刑名アル者ハ各々其法律規則ニ從

郵便條例等ナリ

若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則出ツテ掲ゲザル者

ハ此刑法ノ總則ニ從フ

第三章 刑例 此刑法中ノ總則ノ

第一節 刑名 刑名ニ云フ

第六條 刑ハ主刑第七條及七第八條及七附加刑

附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セザル者

トナ定ム

第七條 左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト爲ス

一死刑 二終身島地ニ送リテ苦役ニツカシメ骨折ヲサセ辱ム

二無期徒刑 三終身島地ニ送リテ苦役ニツカシメ骨折ヲサセ辱ム

三無期徒刑 終身島地ニ送リテ苦役ニツカシメ骨折ヲサセ辱ム

三 見

三 有期徒刑 其罪ノ輕重ニ從ヒ十二年以上十五年以下島地ニ送

ホ第二節第十七條ヨリ

第十九條送テ見ルヘシ

四 無期流刑 終身島地ノ牢屋ニ閉テ込メ置ク仕置ナリ猶ホ

五 有期流刑 其罪ノ輕重ニ從テ十二年以上十五年以下島地ノ牢

第二十條及ヒ

六 重懲役 其罪科ノ輕重ニ因テ九年以上十一年以下内地ノ懲役

第二十二條

七 輕懲役 其罪ノ輕重ニ因テ六年以上八年以下内地ノ懲役

第二十三條

八 重禁獄 其罪科ノ輕重ニ因テ九年以上十一年以下國內ノ牢屋

九 輕禁獄 其罪ノ輕重ニ從テ六年以上八年以下内地ノ獄ニ入

第八條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

一 重禁錮 其罪科ノ輕重ニ從テ一年以上五年以下禁錮場ニ留

二 輕禁錮 其罪ノ輕重ニ因テ十一日以上五年以下禁錮場ニ入

三 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

第九條 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト爲ス

一 拘留 其罪ノ輕重ニ從テ一日以上十日以

二 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

三 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

四 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

五 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

六 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

七 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

八 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

九 罰金 猶ホ第二節第二十六條及ヒ第二十七條ヲ見ルヘシ

第十條 左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト爲ス

一 剝奪公權 人民一般ニ有スル權利ヲ剝奪トテ取リ上ルナリ猶ホ第三節第三十一條及ヒ第三十二條ヲ見ルヘシ

二 停止公權 其罪ノ任置中前ニ云フ人民一般ノ權利ヲ止ルナリ猶ホ第三節第三十三條及ヒ第三十四條ヲ見ヨ

三 禁治産 其罪ダケノ任置ノ濟ム迄自分ノ財産ヲ自由ニ取扱フヲ禁ズルナリ猶ホ第三節第三十五條及ヒ第三十六條ヲ見

四 監視 其罪ダケノ任置ノ濟ミタル後ニ警察官ニ於テ其者ノ進退ニ目ヲ付ルヲ云フ猶ホ第三節第三十七條ヨリ第四十七條ヲ見

五 罰金 之ハ申渡シタル任置ノ他ニ取リ立ルモノナレハ是ニテ罪ヲ贖フト云フハ出來サルナリ猶ホ第三節第四十二條及ヒ第二節第三十七條ヲ見

六 沒收 第三節第四十三條第四十四條ヲ見ルヘシ

七 執行刑 任置ヲ行及ヒ犯人ヲ檢束取

第十條 左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト爲ス

一 剝奪公權 人民一般ニ有スル權利ヲ剝奪トテ取リ上ルナリ猶ホ第三節第三十一條及ヒ第三十二條ヲ見ルヘシ

二 停止公權 其罪ノ任置中前ニ云フ人民一般ノ權利ヲ止ルナリ猶ホ第三節第三十三條及ヒ第三十四條ヲ見ヨ

三 禁治産 其罪ダケノ任置ノ濟ム迄自分ノ財産ヲ自由ニ取扱フヲ禁ズルナリ猶ホ第三節第三十五條及ヒ第三十六條ヲ見

四 監視 其罪ダケノ任置ノ濟ミタル後ニ警察官ニ於テ其者ノ進退ニ目ヲ付ルヲ云フ猶ホ第三節第三十七條ヨリ第四十七條ヲ見

五 罰金 之ハ申渡シタル任置ノ他ニ取リ立ルモノナレハ是ニテ罪ヲ贖フト云フハ出來サルナリ猶ホ第三節第四十二條及ヒ第二節第三十七條ヲ見

六 沒收 第三節第四十三條第四十四條ヲ見ルヘシ

七 執行刑 任置ヲ行及ヒ犯人ヲ檢束取

第十四條 大祀令節國祭刑法附則第一章ノ日ハ死刑ヲ行

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎中ナル時其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非

第十六條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏人

第十七條 臨檢見分スル所ニ於テ之ヲ行

第十八條 死刑ハ司法卿ノ命令ヲ指圖アルニ非ザレハ

第十九條 大祀令節國祭刑法附則第一章ノ日ハ死刑ヲ行

第二十條 フマヲ禁

ザレ刑ヲ行ハズ

第十六條

死刑ノ遺骸云フハ親屬故舊ヲ知己請フ者アレ

之ヲ下付スナリス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サズ

第十七條

徒刑ハ無期有期ヲ分タズ島地ニ發遣スナリ

シ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト爲ス

第十八條

徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セズ内地ノ懲役

場ニ於テ定役ニ服ス

第十九條

徒刑ノ囚云フ六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定

役ヲ免シ其體力相當ノ定役ニ服ス

第二十條

流刑ハ有期無期ヲ分タズ島地ノ獄云フニ

幽閉ニ準屋ヲ閉込シ定役ニ服セズ

有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト爲ス

第二十一條

無期流刑ノ囚前コ五年ヲ經過チ去ル

行政ノ政府ノ處分ヲ取計ヒテ幽閉出ツヲ免シ島

地ニ於テ地獄限リ居住セシムルヲ得

有期流刑ノ囚云フ三年ヲ經過ル者亦同シ

第二十二條

懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス

但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八

年以下ト爲ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セズ

重禁獄 九年以上十五年以下 輕禁獄 六年以上八年以下 爲ス

第二十四條 禁錮 禁錮場ニ留置クナリシ重禁

錮ニ定役ニ服シ 輕禁錮ニ定役ニ服セズ

禁錮ハ重輕ニ分タズ 十日以上五年以下 爲シ仍

亦各本條ニ於テ其長短ヲ區別ル法ニ由テ極ルナリ

第二十五條 定役ニ服スル囚人云フ 工錢 賃

監獄ニ住居人規則ニ從ヒ 幾分ニ向テ 獄舎

ニ費用ヲ入ル 賃道 其幾分ヲ囚人前ニ給與

刑罰ニ現役仕置ノ日百日内ニ給與ノ限

海 又 刑罰ニ現役仕置ノ日百日内ニ給與ノ限

第二十六條 罰金 一圓以上 爲シ仍各本條 定ル

刑罰ニ於テ其多寡ヲ少キマ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定 對シ不服ノ聲

限トシテ 上告スルヲ得ル者ナレバ 上告ノ期

ニ納完ルナリシモ 若シ限内 申出云フ 納完

ハ一圓ヲ一日ニ折算 取替ルシ之ヲ輕禁錮ニ換

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ 更ニ裁判ヲ用ヒ

原告ハ 求申立云フ 役人ニ 因テ 裁判官之

禁錮ノ期限云 二年ニ過ルヲ不得

若シ禁錮限内 申出云フ 罰金ヲ納ル時

其經過

シタル日數ヲ扣除スルヲ云フシテ禁錮ヲ免ス但親屬  
其他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セズ其  
刑期數仕置キ日ハ一日以上十日以下ト爲シ仍ホ各本

條於テ其長短多キ少キチ云フテ區別ス  
第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以下ト爲  
シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡少キチ云フテ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ハ前ニシテ日ヨリ十日内ニ納  
完出ツセシム若シ限内出ツ納完セザル者ハ第二十

七條ノ例罰金取替ニ照ルチ云フシ之ヲ拘留ニ換フ  
第三十節 附加刑處分ノ仕分ケチ云フ

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ナリ上ル  
一 國民ノ特權有スル權チ云フ

二 官吏ノ役人即チ本官御用掛トナルノ權  
三 勳章賜ハリシ功勞ヲ賞シテ年金下サル、金チ云フ年々位記  
位チ賜ハリシ貴號即チ華族ノ類チ云フ恩給扶持米等チ有  
スルノ權

四 外國勳章他國ノ天子又ハ大統領等チ佩用スルノ權  
五 兵籍云フ兵隊チニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ證人トナルノ權但單ニ事實チ云フチ  
陳述チ云フスルハ此限ニ在ラズ

七 後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可チ得テ子孫ノ爲

ニスルハ此限ニ在ラズ  
八分散者ノ管財人ヲ身代限リテ爲シタル者ノ所持ノ品物ト  
爲リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理支配スルノ  
權

九學校長及ヒ教師學監學校ノ改メト爲ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告  
ナ用ヒズ終身一生涯ニ公權見ユテ剝奪出ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ナ用  
ヒズ現任其時ノ役ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期限仕置ノ日  
間公權ヲ行フヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別

宣告ナ用ヒズ監視ノ期限中ニ付セラ  
間公權ヲ行フヲ停止ス  
主刑ヲ免シテ止メ監視ニ付シタル者亦同

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告  
ナ用ヒズ其主刑ニ終ルマテ親カラ財産ヲ所有物ヲ治

第三十六條 流刑ノ囚科人ヲ幽閉シタル者ハ別ニ宣告  
ナル時ハ行政云フノ處分ヒテ以テ治産ヲ云フ

禁止ナルノ幾分何程ニ免スルヲ得

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告  
ナ用ヒズ各本刑ハ夫々ニ受クル所ノ短期限ナモ短キ年三分ノ



一 三ツ割ノ一ニ等シキ時間監視ニ付ス  
 第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス  
 申シ渡シ但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得  
 得ズ

第三十九條 死刑及ビ無期刑ノ期滿免除  
他ニ定メタル罪モ年限ヲ過キ去レハ免セラル、ヲ云フ猶ホ第七節第五十九條ヨリ第六十二條ヲ見ルヘシ  
 得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒズ五年間監視ニ付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算  
勤定ヲスル主刑ノ期滿免除前ニ得タル時ハ其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス  
 若シ主刑ヲ免シテ止ダ監視ニ付シタル時ハ其裁判

確定前ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀云々ニ因  
 リ行政云フ政府ノ處分ヲ取扱ヒテ以テ假ニ監視ヲ免スル  
 得

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ  
 納定ナク切ルセザル時公第二十七條ノ例ニ照シ輕禁  
 錮ニ換ヘ主刑滿限ノ重立タル仕置ノ年限ノ後之ヲ執行ス

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官  
 政府ニ沒收ヲ取上ル云フス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例  
 ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ  
 一 法律ニ於テ禁制シタル物件兼テ律ノ掟ニ因テ禁セラレ

二 犯罪ノ用ニ供シタル物件（悪事ヲ爲ス爲メニ用ヒタル品物ヲ云フ）

三 犯罪ニ因テ得タル物件（悪事ヲ爲シタル品物ヲ云フ）

第四十四條

法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所

有（所持品ヲ問ハズ之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供テ云フ）及

犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ

所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收（取上ル）スルヲ得ズ

第四節

徵償處分ノ入費ヲ取立ル仕分ケヲ云フ

第四十五條

刑事取扱（罪人ノ仕置ヲ）ノ裁判費用（入用ヲ）ハ其全

部（殘ラスト云）又ハ幾分（何程ト云）ヲ犯人云フニ科（取立ル）ス但其費用ノ額（金ノ高）ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條

犯人刑ニ處セラレ又ハ放免（其罪ヲ免セ）ラレト雖モ其被害者（害ヲ受ケル）ノ請求ニ對シ（贓

物（盜ミ物）ノ還給（返シ）ル（ナ）云フ損害（損毛）ノ賠償（數ヲ）捕（ヘ）償（ヲ）免

カル、トテ得ズ

第四十七條

數人共犯（數人共ニ謀テ罪ニ係ル）裁判費用（贓

物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶（共ニ引

ク）セシム

第四十八條

裁判費用（贓物ノ還給損害ノ賠償ハ被害

者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判（裁判ト云）スル

ト雖モ直ニ之ヲ被害者ニ還付（還シ渡ス）ス

ト雖モ直ニ之ヲ被害者ニ還付（還シ渡ス）ス

第五節 刑期計算 刑期ハ仕置ノ日限年限ヲ

第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十

四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年

ト稱スルハ曆ヲ云フニ從フ

受刑仕置ヲ受フ初日ハ時間云フヲ論ゼス一日ニ算入

返フニ放免ノ日ハ刑期ニ算入セズ

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非ザレバ之ヲ執

行シ施行スルヲ得ズ

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算 勘定ヲ初ム

ス若シ上訴ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ從フ

犯人自ラ上訴申立ルヲ云フシテ其上訴正當ナルヲ云フ

ナリ時ハ前判前ノ裁判 宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其

上訴不當ニ適ハサナル時ハ後判後ノ裁判 宣告ノ日

ヨリ起算ス

二 檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否ト

依テ分クズ前判宣告ノ日ヨリ起算ス

三 止訴中保釋ヲ預ルヲ云フ其人ヲ得又ハ責付預ルヲ云フセ

ラシタル者ハ其日數ヲ刑期ニ算入スルヲ得ズ

第五十二條 刑期限内仕置ノ日限 逃走ヲ云フシ再ビ捕

召捕ルニ就キタル者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑

前ニ受タル仕置ノ日數ト逃走ノ日ヲ計算ス

第六節 假出獄キカ爲ニ假ニ獄ヨリ出スヲ云フ

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則屋

ノ規則ヲ遵守シテ慎ミ守ルシ俊改ノ狀心ノ様子ヲ云フ改アル時

ハ其刑期四分ノ三ヲ經過チ去ルスルノ後行政ノ處

分テ以テ假ニ出獄ヲ許スコトヲ得

無期徒刑ノ囚云コトハ十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ押シ込テ免スルノ

外假出獄ノ例ヲ用ヒズ

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サル、ト雖モ仍

矢張ト云ホ島地ニ居住セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ

以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルコトヲ得

但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ

直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入ス

ルコトヲ得ズ

第五十七條 刑期限内中置ノ日數更ニ重罪輕罪ヲ犯シ

タル者ハ假出獄ヲ許サズ

第七節 期滿免除 期滿ハ期限ノ濟ムチ云ヒ免

第五十八條 刑ノ執行ナル仕置チス通レタル者法律ニ定

メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除 罪人カ仕置チ

付テ其罪ヲ免サル、コトヲ云フ

第五十九條 主刑重立タル仕置ハ左ノ年限ニ從テ次ノ年數ヲ

同云ニテ期滿免除ヲ得

一死刑ハ三十年

二無期徒刑ハ二十五年

三有期徒刑ハ二十年

四重懲役重禁錮ハ十五年

五輕懲役輕禁錮ハ十年

六禁錮罰金ハ七年

七拘留料ハ一年

第六十條 剝奪公權停止公權及ビ監視ハ期滿免除ヲ

得ズ

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免  
除ノ限ニ在ラズ

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル日ヨリ起

算ス若シ捕ニ就キ再ビ逃走シタル時ハ其逃走ノ日

ヨリ起算シ闕席裁判クワシニ係ル時ハ其宣告ノ日

ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮捕ヲ云フ

ヲ命ジタル時ハ最終ニ一番仕舞ノ令狀ヲ記シタル書付ヲ旨

ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

第八節 復權復ハ元ニ歸ルヲ云ヒ

第六十三條 公權ヲ剝奪ヲ取リ上ルセラレタル者ハ主刑

ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情狀ハ其科  
心入レテニ因リ將來ニ同シト云ノ公權ヲ復スルヲ得  
主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨ  
リ五年ヲ經過スルノ後亦同シ

第六十四條

大赦ノ朝廷ニテ大ナル御祝又ハ御法事アル時天子

ニ因テ免罪ヲ免サレ、ヲ得タル者ハ直テニ復權ヲ

得特赦ニ別段ナル帝王ノ恩召ヲ以テ其入ニ因テ免罪ヲ得タ

ル者ハ赦狀ニ免罪ノ旨ヲ記シ中ニ記載スルニ非サレバ復

權ヲ得ズ

大赦及ヒ特ニ因テ復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免

シタル者トス

第六十五條

復權ハ勅裁召テ天子ノ思ニ非サレバ之ヲ得可

カラズ

第三章

加減例 罪人ノ心入レニ因テ其刑ヲ加

第六十六條

法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後

ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死

刑ニ入ルヲ得ズ

第六十七條

重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ記シタルニ照シ

テ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重懲役

五輕懲役

第六十八條

國事ニ關スル重罪ヲ企テ御上ヤ下ヲ騷カス類  
云ノ罪ヲ以テ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期流刑

三有期流刑

四重禁獄

五輕禁獄

第六十九條

輕懲役ニ該ル者減輕シテ輕  
時小二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ

等十爲ス

輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ三年以上五年以下  
ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

第七十條

禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條  
ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減ズルヲ以テ

一等ト爲シ其加重ノ罪ヲ加ヘテ重スベキ時ハ亦四分ノ  
一ヲ加フルヲ以テ一等ト爲ス

輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルコトヲ得ズ但禁錮ハ加  
ハテ七年ニ至ルコトヲ得

第七十一條

禁錮ヲ減盡シ十分ニ引キ下シタル時ハ拘留  
ニ處シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金

ヲ減シテ其短期ヲ少キ日數十日以下寡數ヲ少キ日數一圓九十五錢以下ニ及ブ時ハ亦拘留料ニ處スルヲ得  
第七十二條 拘留料ニ該ル者加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス

違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ズ但拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヲ得減シテ一日以下ニ降ス  
トテ得ズ料料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下ニ降ス  
第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零

數日ナレバ二十時ハ即チハ二十四時ハ一ナ生シ一日ニ滿ザル

時ハ之ヲ除棄テ除ク

第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止ダ主刑ヲ科ス

第四章 不論罪科申付ケ及ビ減輕科申付ケテ輕  
第一節 不論罪及ビ宥恕推シ測リテユ減輕

第七十五條 抗拒對テス可カラザル強制ケテ付ニ  
遇ヒ其意ニ非ザルノ所爲ハ其罪ヲ論ゼズ  
天災又ハ意外思フニ同シトノ變ニ因リ避ク可カラザル危難難儀スルニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身體ヲ防衛助ケ守ルスルニ出タル所爲亦同シ



第七十六條 本屬長官（自身ノ出勤スル役所ノ命令ニ從ヒ

其職務ヲ以テ爲シタル者ハ其罪ヲ論ゼズ

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ其罪ヲ論ゼズ

但法律規則ニ於テ別ニ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在

ラズ

罪ト爲ル可キ事實云フヲ知ラズシテ犯シタル者ハ

其罪ヲ論ゼズ

罪本重カル可クシテ犯ス時知ラザル者ハ其重キニ

從テ論ズルヲ得ズ

法律規則ヲ知ラザルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スヲ

ヲ得ズ

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺知惠チ精神云フヲ喪失喪

氣違ヒ又ハ寐ボケタル者等ヲ云フナリニ因テ是非ヲ辨別

キマヘル

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿ザル者ハ其罪ヲ

論ゼズ但滿八歳以上ノ者ハ情狀ニ因リ滿十六歳ニ

過ギザル時間之ヲ懲治場（揚リ屋）ニ留置スルヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿ザル

者ハ其所爲是非善シ惡シヲ辨別シタルト審トヲ審案ク

ルニ考ヘル

但情狀ニ因リ滿二十歳ニ過ギザル時間之ヲ懲治場

ニ留置スルヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シ本刑ニ  
二等ヲ減ズ

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歲以上二十歲ニ滿ザ  
ル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ズ

第八十二條 瘡啞者トシテ即チ物ヲ云フ罪ヲ犯シタル時  
ハ其罪ヲ論ゼズ但情狀ニ因リ五年ニ過ギザル時間  
之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歲以上二十歲ニ滿ザル  
者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルヲ得ズ

滿十二歲以上十六歲ニ滿ザル者ハ其罪ヲ宥恕シテ  
本刑ニ一等ヲ減ズ十二歲ニ滿ザル者及ビ瘡啞者ハ

其罪ヲ論ゼズ

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪宥恕  
減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕 自首ハ我惡事ヲ自ら申立ルヲ云ヒ  
夫ニ付テ其罪ヲ減ジテ輕クスルヲ

第八十五條 罪ヲ犯シ事未ダ發覺アラハルハナリセザル  
前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ズ但

謀殺云フ即チ目論見殺スナリ故殺心ニテ殺スヲ云フ  
ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラズ

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ  
其贓物ノ盜ニ物又ハ不正ヲ還給返ヘス損害ヲ賠償ツクノ

云フナシタル時ハ自首減等ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減  
ズ其全部ヲ還償スルコト返セズト雖モ半數以上ヲ還  
償シタル時ハ一等減ズ

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服狀  
スルヲシタル者ハ官ニ自首スルハ同ク前二條ノ例  
照シテ處斷ス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例  
ヲ掲ゲタル者ハ各本條ニ從テ其罪ノ輕重ハ同ク取  
ル

第三節 酌量減輕テ罪ヲ減ズルコト云フ  
第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分テ所犯情狀原諒  
其原因ヲ調べテス可キ者ハ酌量ヲ量ルシテ本刑ヲ減

輕スルコトヲ得キ者ハ酌量ヲ量ルシテ本刑ヲ減  
法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又減輕ス可キ者ト雖モ  
其酌量ス可キ時仍ホ之ヲ減輕ス可キ者ト得キ

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等  
ヲ減ズ

第五章 再犯加重  
第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重  
罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加テ處テ之ヲ處スル者ハ其罪

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再  
犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加テ處テ之ヲ處スル者ハ其罪

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯

第九十四條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯

第九十五條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯

違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ但一年内再  
其違警罪裁判所ノ管轄地内ニ於テ犯シタル時ニ非  
ザレバ再犯ヲ以テ論ズルヲ得ズ

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ハ上訴ヲ爲ス  
ノ期限ズミ又其裁判ズミノ後始メテ裁判ノ後ニ非ザレバ之  
ヲ論ズルヲ得ズ

第九十五條 刑期限内再ビ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告  
シタル時ハ先ヅ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役  
ニ服セザル者ヲ後ニス若シ初犯再犯共ニ定役ニ服  
スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セザル刑ニ該ル  
時ハ先ヅ其重キ者ヲ執行ス

罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラズ各之ヲ徴收取  
上ルヲ云フ

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ノ極リテ經  
タル者再ビ重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ非常律  
ニ從ヒ處斷シタル者ニ非ザレバ再犯ヲ以テ論ズル  
ヲ得ズ

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ビ罪ヲ  
犯スト雖モ再犯ヲ以テ論ズルヲ得ズ  
第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯  
ノ例ニ同ジ

第六章 加減順序ズル次第ヲ云フ

第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本

刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ

定ム但從犯シタル罪ヲ云フ及ビ未遂犯罪シテ未

ル罪ヲ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕

ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

二再犯加重

二宥恕減輕

三自首減輕

四酌量減輕

第七章 數罪俱發

第一百條 重罪輕罪ヲ犯シ未ダ判決ヲ經テ二罪以上俱

ニ發シタル時ハ重キニ從テ處斷ス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑期等

シキ者ハ定役ノ重者ヲ以テ重ト爲ス

輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷ス

第一百條 違警罪二罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑

律科言付ル若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ

一ノ重キニ從フ

第一百條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪ニテ後

ニ發シタル時ハ後ニ發シ其輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ

論セズ其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ル罪ヲ云フハ刑

ヲ以テ後發ル罪ニ通算スルヲ云フ但前發

ノ刑罰金料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第二十七  
條ノ例ニ照シ折算ヲ引キ合セシテ後發ノ刑期ニ通算ス  
若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未ダ發セザル罪再犯ノ  
罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト比較スラフ合シ一ノ  
重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セズ

第一百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其  
沒收及ビ徵償ヘキ物ヲ云フノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯ニ多人數相謀ツテ共

第一節 正犯直チニ手ヲ下シテ惡事

第一百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト  
爲シ各自ニ其刑ヲ科ス

第一百五條 人ヲ教唆テ何ノ考モナキ者ニ勸メシテ重罪輕罪

ヲ犯サシメタル者ハ亦正犯ト爲ス

第一百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時

ハ他ノ正犯從犯及ビ教唆者ニ及ボスヲ得ズ

第一百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教

唆者ヲ算入シテ多數ト爲スヲ得ズ

第一百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ

犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ

其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示云フシタル所ト

殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ處斷ス

一所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止ダ其指定シタ

ル罪ニ從テ刑ヲ科ス  
 二所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪  
 其ニ從テ刑ヲ科ス  
 出八第二節 從犯ガ惡事ヲナス手傳ヲ余所ナ  
 第百九條 重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ノ刀鐵砲偽銃等  
 ヲ給與シ又ハ誘導ニ門ヲ開キテ之ヲ入ル、ナリテ云フ  
 示シ其他豫備ヲ云フハ所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助ヒ助  
 云フシ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正  
 犯ノ刑ニ三等ヲ減ス但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯知  
 知所ヨリ重キ時ハ止テ其知所ノ罪ニ照シ一等  
 減ス人ニテ

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト爲ル  
 時ハ其重キニ從テ等ヲ減ズ  
 正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免等ヲ減スルヲ云フ一ス可キ  
 時ト雖モ從犯ノ刑ハ其輕キニ從テ減免スルヲ得  
 第九章 未遂犯罪 惡事ヲナサントシテ其  
 第百十一條 罪ヲ犯サントシテ謀リ又ハ其豫備ヲ爲ス  
 雖モ未ダ其事ヲ行ハザル者ハ本條別ニ刑名ヲ記  
 載スルニ非ザルハ其刑ヲ科セズ  
 第百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行フト雖  
 犯人意外云フ類トシテ障礙ホサハリ又ハ邪魔若クハ姓

錯間違フニ因リ未ダ遂ゲザル時ハ已ニ遂ゲタル者  
ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ズ

第百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ

前條ノ例ニ照シテ處斷ス

輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ本條別ニ記

載スルニ非ザレバ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ

得ズ

違警罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ其罪ヲ論

得ズ

第十章 親屬例者身依リノ

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載

シタル者ヲ云フ

一 祖父母父母夫妻

二 子孫及ビ其配偶者ハ子ヤ孫ノ女房又ハ亭主ヲ云フ

三 兄弟姊妹及ビ其配偶者

四 兄弟姊妹ノ子及ビ其配偶者

五 父母ノ兄弟姊妹及ビ其配偶者

六 父母ノ兄弟姊妹ノ子

七 配偶者ノ祖父母父母

八 配偶者ノ兄弟姊妹及ビ其配偶者

九 配偶者ノ兄弟姊妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姊妹



第百十五條

祖父母ハ稱スルハ高曾祖父母外祖父母  
 同シ父母ト稱スルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スル  
 ハ庶子妻腹ノ子曾玄孫外孫同シ兄弟姊妹ト稱スルハ  
 異父種ガハリノ異母ノ兄弟姊妹同シ  
 養子其養家ニ於テ親屬ノ例ハ實子ニ同シ

國家敬慕ノ事ニ其罰則著  
 二 凡テ國家ノ其罰則著  
 一 凡テ國家ノ其罰則著

第二編

第一章

公益世間一體ノニ關スル重罪輕罪

第百十六條

皇室テ惡事ヲナシタル者ニ對シニ對スル罪  
 天皇三后 大皇太后 皇太子ニ對シニ危害  
 凡テノワザヲ加ヘ又ハ加ヘントスル者ハ死刑ニ處ス  
 ハヒナ云

第百十七條

天皇三后 皇太子ニ對シニ不敬ノ所爲アル  
 者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上  
 二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百十八條

皇陵 凡テ舊天皇ノニ對シニ不敬ノ所爲アル者亦同シ  
 皇族ヲ親王ヲ云フニ對シニ危害ヲ加ヘタ  
 ル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無  
 期徒刑ニ處ス

第一百十五條

祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母

同シ父母ト稱スルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スル

ハ庶子ヲ云フ子曾玄孫外孫同シ兄弟姊妹ト稱スルハ

異父種ガハリノ異母ノ兄弟姊妹同シ

養子其養家ニ於テ親屬ノ例ハ實子ニ同シ

...

...

...

...

...

...

第二編 公益世間一體ノニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室テ惡事ヲナシタル者ヲ云フニ對スル罪

第一百十六條 天皇三后后皇太后皇太子ニ對シ危害

凡テノワザヲ加ヘ又ハ加ヘントスル者ハ死刑ニ處ス

第一百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル

者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上

二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

皇陵凡テ舊天皇ノニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ

第一百十八條 皇族ヲ親王ヲ云フニ對シ危害ヲ加ヘタ

ル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無

第一百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二章 國事ニ關スル罪 國事トハ政事ヲ云ヒ政事ハ國事トハ政事ヲ云ヒ政事ニシテ之ニ反

第一節 内亂ニ關スル罪 内亂ハ國內ノ騷動ヲ云ヒ即チ政府ニ敵對スル罪ヲ云フ

第二百十一條 政府ヲ顛覆ヘスヲ云フシ又ハ邦土ニ土地ヲシ僭竊ヲ云フシ其他朝憲ル朝廷ニ立テ置カチ紊亂ヲ云フスルヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別

ニ從テ處斷ス

一 首魁 重立タル者即チ及ビ教唆者ハ死刑ニ處ス

二 群衆 多人數ノ指揮ヲ爲シ其他樞要切ト云フニ同ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕

キ者ハ有期流刑ニ處ス

三 兵器 金穀ヲ資給中送ハナシ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄

ニ處ス

四 教唆 勸メタル又ハオニ乘シテ附和隨行ルヲ云フシ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ヲ云フニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第二百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船  
船金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已  
ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ見込ミテ人  
ヲ謀殺リテ殺スヲ云フシタル者ハ兵ヲ擧ルニ至ラズ  
ト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ビ下手者殺シタル  
者ヲ死刑ニ處ス

第二百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃  
チ本刑ヲ科ス

第二百二十五條 兵隊ヲ招募呼ヒ集メシ又ハ兵器金穀ヲ  
準備ナ用意スルシ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第百

二十一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ズ

内亂ノ陰謀論ムヲ云フヲ爲シ未ダ豫備ニ至ラザル者  
ハ各二等ヲ減ズ

第二百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未  
ダ其事ヲ行ハザル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本

刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

第二百二十七條 内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ聚會所ヲ寄合所  
給與貸シ與フシタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮  
ニ處ス

第二百二十八條 内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内  
亂ノ目的ニ關セザル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常

ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二節 外患ニ關スル罪 外國ト戰チナシ又日本ノ

時ニ裏反リテ  
スル罪ヲ云フ

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵ヲ云フシ又

ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛キ背

離ル、シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管內ニ入ラ

シメ若クハ本國及ビ同盟國ノ都城要塞ヲ云フ又ハ

兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵

國ニ交付ス渡シ遣ハシタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十一條 本國及ビ同盟國ノ軍情機密軍ノ内情ヲ

云フ敵國ニ漏泄セルヲ云フシ若クハ兵隊屯集ヲ云フ

ノ要地大切ナル土又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知告ケ

スフシタル者ハ無期流刑ニ處ス

敵國ノ間諜探索ニ來ル者ヲ云フシ誘導シテ本國管內

ニ入ラシメ若クハ藏匿内々カシシタル者亦同シ

第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給進

スルコトシ及ビ工作等事土方ヲ爲ス者交戰ノ際敵國ニ

通謀敵ニ味スシ又ハ其賂遺ヲ云フシ收受、受ケ入ル

テ命令ニ違背シ云フシ軍備ノ缺乏ヲ不都合ヲ云フ

ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ云フシ開キタ

ル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ズ

第三百三十四條

外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立令

ハ外國ニ戰爭アル時トテラ ナ布告シタル時其布告ニ違

背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十

圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百三十五條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑

ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三章

靜謐ヲ害スル罪 平穩ナル世ヲ妨

第一節

兇徒聚衆ノ罪 惡者等カ申合せ一揆ヲ企テ

第三百三十六條

兇徒多衆 兇徒多衆トハ惡ル者 ナ嘯聚 集呼

ルヲシテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍  
ホ解散ヲ去ルセザル者首魁及ビ教唆者ハ三月以上  
三年以下ノ重禁錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓  
以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十七條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧 騷

申シ立ツシ官吏ニ強逼ルナシ又ハ村市ヲ騷擾ガセ

ルヲシ其他暴動ヲ云フナ爲シタル者首魁及ビ教唆

者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應ジ煽動ヲハノカス同シ

シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ

一等ヲ減ズ附和隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以

下ノ罰金ニ處ス

第三百三十八條

暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫ヲ等チ米コブ等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ビ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス首魁及ビ教唆者情ヲ知テ制セザル者亦同シ

第二節

官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪ノ役人

目ヲナスコトニ邪魔  
ヲスル罪ヲ云フ

第三百三十九條

官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ

又ハ行政司法官署云フ所チノ命令ヲ執行スルニ當リ

暴行脅迫行チ云フ所チ以テ其官吏ニ抗拒コバムチ云フ

シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラザル事件ヲ行

ハシメタル者亦同シ

第四百十條

前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷打叩キテ

フチ云シタル者ハ毆打創傷爭論ノ上打合テノ各本條ニ

照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第四百十一條

官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容

若クハ言語ヲ以テ侮辱ムルヲ云フシタル者ハ一月

以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非ズト雖モ刊行ルチ云フノ文書圖書又ハ公

然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ビ罪人ヲ藏匿スル罪

科人カ欠落シタル罪又罪人ナカクマヒ置キタル罪ヲ云フ

第四百十二條 已決裁判スミ仕置ヲ申付ノ囚徒ヲ入牢ハ逃走

シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞ス打テコハシ又ハ暴行脅迫ヲ爲シ

テ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處

ス

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再

犯ヲ以テ論ゼズ其刑期限内再ビ逃走シタル者ハ再

犯ヲ以テ論ズ

第四百十四條 未決嫌疑又ハ訴ヘラレテ未タノ囚徒入監

中逃走シタル者ハ第四百十二條ノ例ニ同シ但原犯

モトノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照

シテ處斷ス

第四百十五條 囚徒三人以上通謀ル申シ合セシテ逃走シ

タル時ハ第四百十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第四百十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ

器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ云フヲ指示シタル

者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタ

ル時ハ一等ヲ加フ

第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ手籠ニ奪フ又ハ暴行脅迫ヲ



以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第四百四十八條 囚徒ヲ看守番チスルシ又ハ護送テ送ルチ云スル者囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ亦前條ノ例ニ

同シ

第四百四十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ヲ云フルニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラザル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ニ處ス  
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓

以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ビ監視ニ付

セラレタル者ナルヲ知テ故云フニ同シトサラニ之

ヲ藏匿置チ云フシ若クハ隱避、逃レ隠クルセシメタル者

ハ十一日以上一年以上ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等

ヲ加フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメンコトヲ圖リ其

罪證ルモノヲ云フト爲ル可キ物件ヲ隠蔽クテ云フシタ

ル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者若シ犯人ノ

親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論ゼズ

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪公權ヲ取上ケテラ

行ヒタル  
罪ヲ云フ

第百五十四條 公權ヲ剝奪シ取リ上ルセラレ又ハ公權ヲ

停止シ止メラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ

一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以  
下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背

シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ビ犯シタ

ル時ニ非ザレバ再犯ヲ以テ論ズルコトヲ得ズ

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ビ所

有スル罪ヲ用ユル品ヲ勝手ニ拵ヘ又ハ所

第百五十七條 官命ヲ受ケズ又ハ官許ヲ得ズシテ陸

海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂質ニ火ニ合ヘバ

フ云ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ

重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シ運ヒ込ムシタル者亦同シ前項前ノ箇條ノ物品ヲ私ニ販賣シテ賣捌クシタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止ダ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ズ

第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス  
第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ

所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハズ之ヲ沒收ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪ノ人ノ妨ケヲナシタル罪  
第百六十二條 道路橋梁河溝港埠塢ヤ波戸ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十三條 偽計ヲ拵ヘ言ヲ以テ人またハ威力ヲ以テ人ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シテ差押ヘルシタル

者ハ亦前條ニ同シ

第六十四條

電信ノ器械柱木ヲ電信ノ柱ヲ損壞シ又ハ  
條線金ヲ云フ針ヲ切斷シテ電氣ヲ云フキヲ不通ニ致  
シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木條線ヲ損壞スヲ云フハシテ電信ノ妨害ヲ

爲スト雖モ不通ニ至ラザル時ハ一等ヲ減ズ

第六十五條

汽車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ビ  
其標識ヲ目印ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ云フ障リヲ爲  
シタル者ハ重懲役ニ處ス

第六十六條

船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標

海上ニ浮ヘテ其海ノ深イ其他航海ノ安寧ヲ無難ナヲ保護シ  
淺イヲ知ラセル物ヲ云フ

標識ヲ損壞シ又ハ詐僞ヲ云フノ標識ヲ

點示モノヲ云フシタル者ハ亦前條ニ同シ

第六十七條

前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關ス  
ル官吏及ビ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照

シ一等ヲ加フ

第六十八條

第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺  
傷ハ人ヲ殺シ或ハ痲ヲシタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照

シ重キニ從テ處斷ス

第六十九條

第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯  
シ因テ汽車ヲ顛覆カヘスヲ云フシ又ハ船舶ヲ覆没ヲ船

覆ヘシ沈ムシタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ゲザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪ニ立入りタル罪ヲ云フ

第七十一條 畫間云フ日中ヲ故ナク人ノ住居シタル邸宅

又ハ人ノ看守シタル建造物ノヲモニ入りタル者ハ十

一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戶牆壁高城垣根ノヲ踰越テ飛越ス損壞シ又ハ鎖鑰前

ヲ云フ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ攜帶ヲ云フ

シテ入りタル時

三 暴行ヲ爲シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

第七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ

人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一月以上一

年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一

等ヲ加フ

第七十三條 故ナク皇居禁苑天子ノ御離宮行在所御

先キノ假リ及ビ皇陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ

照シ各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪官ヨリ付ケテカリシタル封印ヲ切リ捨

タル罪  
ナニ云フ

第七十四條 官署ノ處分ヲ取計ヒニ因リ特別ニ家屋倉

庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄切リ取ルシタル

者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ

又ハ毀壞打毀スシタル者ハ盜罪及ビ毀壞ノ各本條ニ

照シ重キニ從テ處斷ス

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又

ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルトテ覺テザル時

ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪政府ヨリ命セラレタ  
ル所ノトニ背キ從ハ

サル罪  
ナニ云フ

第七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スルヲ要

スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之

ヲ肯ゼザル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ

五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七十八條 陸海軍ノ徴兵ニ編入組ヨ入ルセラル

可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲ワザトコシラヘルナ

リシ其他詐偽ノ所爲所作ヲ以テ免役ヲ圖リタル時

ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 若シ他人ニ囑託、頼ミ入ルシ其姓名ヲ詐稱ニ言ハセテ其人ヲ自分ノ代人シテ徵募集ルチ云フニ應ゼシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應ジタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス  
 第七十九條 醫師化學見定メ夫ヨリシテ一種ノモノヲコシラヘ出ス家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖切リ割キテ其體內ノ様子分析物チ色々ニ分チテ其性又ハ鑑定メルチ見定フヲ命ゼラレタル者故ナクシテ之ヲ肯ゼザル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述ルチ云フスルコトヲ命ゼラレタル者故ナクシテ之ヲ肯ゼザル時ハ又前條ニ同シ  
 第八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患チ検査シ又ハ消滅消ヘテ無クシテノ方法ヲ陳述スルコトヲ命ゼラレタル者故ナクシテ之ヲ肯ゼザル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
 獸類傳染病流行ノ際獸醫治スモノヲ云フ此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ズ  
 第四章 信用ヲ害スル罪 偽物ヲ造

第一節

貨幣ヲ偽造スル罪 贖セ金又ハ贖札ヲ

第一百八十二條

内國通用ノ金銀貨及ビ紙幣ヲ偽造シ

若シ變造直スノ類ヲ云フシテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造直スノ類ヲ云フシテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第一百八十三條

内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ

偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ

重禁錮ニ處ス

第一百八十四條

官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽

造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別

ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第一百八十五條

内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタ

ル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ

重禁錮ニ處ス

第一百八十六條

前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造

已ニ成テ未ダ行使セザル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ

減シ未ダ成ラザル者ハ二等ヲ減ズ

若シ偽造ノ器械ヲ豫備スルヲ云フシテ未ダ着手取リカ

云フル者ハ各三等ヲ減ズ

第一百八十七條

貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ



受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可  
キ刑ニ照シ各一等ヲ減ズ

若シ職工ノ補助ヲ傳ヒテ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ  
職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ズ

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋  
座舖ヲ給與ル借シ與フシタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ

照シ二等ヲ減ズ

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル

者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受ルヲ云  
フ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル

者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ズ

其未ダ行使セザル者ハ各三等ヲ減ズ

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ

刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入收受シタ

ル者未ダ行使セザル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ

本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未ダ行使セ

ザル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第百九十三條 貨幣ヲ收受スルノ後ニ於テ偽造又ハ

變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額二倍

ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スヲ得ズ

第二節

官印ヲ偽造スル罪ヲ政府ノ印形ノ贋セ

第百九十四條

御璽印天皇ノ御璽ヲ用テ日本帝國ヲ偽造シ又ハ

其偽璽國璽等ヲ用テ使用シタル者ハ無期徒刑

刑ニ處ス

第百九十五條

各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印印贋ヲ

用テ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十六條

產物商品等ニ押用ル官ノ記

號番號ノ數印章標ノ印形ヲ偽造シ又ハ其偽印印贋ヲ使用

シタル者ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ

其偽印印贋ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁

錮ニ處ス

第百九十七條

御璽國璽官印記號印章ノ影蹟押シテ

ヲ押テアルモノヲ盗用ル者ハ前數條

ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ズ

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第百九十八條

官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ビ

郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シ

タル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以

上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百九十九條

已ニ貼用張リ用フシタル各種ノ印紙及

郵便切手ヲ再ビ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂テ成ル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪ノ凡テ政府ノ御書付類

第二百二條 詔書天皇ヨリ仰出サレタル書付ヲ云フヲ偽造シ又ハ增減變換増シ又ハ減シ又ハ其意味ヲカヘルノ類ナリシタル者ハ無期徒刑ニ處ス 其詔書ヲ毀棄毀リ棄ルシタル者亦同シシタル者亦同シ

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名名前ノトキモノ即チ名前ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第二百五條 官吏其管掌支配下ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪 謀書謀判等ヲナシ 第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ノ印形ノ押テアヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ズ

第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若クハ金額ト交換ルキカヘス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス其手形證書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦同シ

第二百十條 賣買貸借贈遺スルヲ云フ交換其他權利義務ニ關スル證書ヲ偽造シ又ハ増減變換ルキカヘシテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ六月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サンコトシテ未ダ遂グザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪  
官ヨリ御渡シニナル鑑札又醫者ノ診斷書ヲトテ贋セル罪ヲ云

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シ

タル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以

上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ

盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱自分ノ籍ヤ身分ヤ名

シ其他詐偽ノ所爲仕業ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
官吏情ヲ知ラ其免狀鑑札ヲ下付ニナルコトヲ云フシタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十五條 公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病云フ病氣ヲノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ

自己ノ爲メニ他人ノ爲メニスルヲ分ダズ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
醫師囑託ヲ云フヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十六條 陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ爲メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ビ囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ  
第二百十七條 免狀鑑札及ビ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

第六節 偽證ノ罪 裁判所へ出テ偽リノ證據ヲ申シ立タル罪ヲ云フ

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇云フニ同シ  
實事柄ヲ掩蔽シテ偽證無キコトヲ有ルト云テ證據ニ申シテ爲シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス  
一 重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
二 輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ

本條ニ依テ處斷ス

第二百十九條

偽證ノ爲メ被告人正當云當リ前ト

刑ヲ免ガレタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各

一等ヲ加フ

第二百二十條

被告人ヲ陷害シ入フル爲メ偽證

ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

一重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一年以上

五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

二輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上

二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以

上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

第二百二十一條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタ

ル後ニ於テ偽證ノ罪發覺テ顯示シタル時ハ偽證者

ヲ其刑ニ反坐置テ申シ渡サレ其後ニ至リテ偽證ノ證據カアラ

ハレタル時ハ其偽證ノ證據ヲ申立タル者カ被ス若シ反坐ノ

告人ノ受ケタル仕置ヲ申シ付ケタルハ云フ

刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ

例ニ照シテ處斷ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經  
 過シ去リシタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減ズル  
 一ヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得ズ  
 第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレ  
 タル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ズ其未ダ刑ヲ執行セザ  
 ル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ズ  
 若シ被告人ヲ死ニ陥ルノ目的云見込ヲ以テ偽證  
 ナ爲シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未ダ刑ヲ執行セザ  
 ル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ズ  
 第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽  
 證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處

シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 第二百二十四條 鑑定物ヲ考ヘテ見又ハ通事分ラヌトガ  
 解キ分ケルヲ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述  
 申シ述ルヲ爲シタル時ハ前數條ニ記載シタル偽證ノ  
 例ニ照シテ處斷ス  
 第二百二十五條 賄賂物ヲ云フ其他ノ方法ヲ以テ人ニ  
 囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル  
 者ハ亦偽證ノ例ニ同シ  
 第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者  
 其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル罪  
 ナ自カラ申シタル時ハ本刑ヲ免ヌ



第七節

度量衡ヲ偽造スル罪 尺柄秤等ノ價セ物ヲ

第二百二十七條

度量衡ヲ偽造スル罪 尺柄秤等ノ價セ物ヲ

又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ

重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造

官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十八條

偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販

賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ズ

第二百二十九條

商賈農工定規タルキマレヲ増

減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以

下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附

加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財

ヲ以テ論ズ

第二百三十條

人ノ囑託同シニ受ケテ度量衡ヲ偽

造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ

照シ各六等ヲ減ズ

第八節

身分ヲ詐稱スル罪 平民カ役人ト云ヒ府ノ人

云フ

第二百三十一條

官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其

屬籍身分姓名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ三圓以上

二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條

官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽

章服ノ飾リヲ云フ若クハ内外國ノ勳章リシ印ヲ云フナ僭用モ政府ヨリ許シノナキシタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節

公選ノ投票ヲ偽造スル罪公ケニ人ヲ撰

セテ持ヘ又ハ金ヲ遣ツテ撰ハセル等ノ罪ヲ云フ

第二百三十三條

公選ノ公ケニ撰ムノ投票ヲ入レ札ヲ偽造シ

又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條

賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄

賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條

投票ヲ檢査取調ヘ吟味シ及ビ其數ヲ

計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條

調書取リ調ヘテ造リ投票ノ結局事ノツ

フチ云フ報告告ケ知ラズル者其數ヲ増減シ其他詐僞ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 健康ヲ害スル罪 飲食ノトノ入ノ身體ニ障リトナ

第一節 阿片烟ニ關スル罪 アヘン烟ニ付

第二百三十七條 阿片烟之ハ罌粟ヨリ製シタル物ニシテ是テ

管ノ先ニヌリ火ヲ付テ其烟ヲ吸フモ

ノナヲ輸入シ及ビ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ

有期徒刑ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スル者ハ輕懲

ヲ輸入シ及ビ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲

役ニ處ス

第二百三十九條 稅關官吏情ヲ知テ阿片烟及ビ其器

具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋云フヲ給

與ルヲ云フシテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル

者亦同シ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上

三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十二條 阿片烟及ビ吸食ノ器具ヲ所有シ又

ハ受寄預ルシタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮

ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪 飲ミ料ニ遺フ

シタル罪

第二百四十三條

人ノ飲料ヲ飲ミ水ニ供スル淨水ヲ清キ水

汚穢等ヲ交セル者ハ塵芥シ因テ之ヲ用フル能ハサルニ

至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ

處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條

人ノ健康ヲ損傷スル者ハ障リナク害ス可

キ物品ヲ用ヒテ水質水ノ性質ヲ變ジ又ハ腐敗ヲ云フセ

シメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三

圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十五條

前條ノ罪犯シ因テ人ヲ疾病又ハ

死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ

從テ處斷ス

第三節

傳染病豫防規則ニ關スル罪 移リ病ヲ用

第二百四十六條

傳染病豫防用心ヲ云フノ爲メ設ケタ

ル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又

ハ物品ヲ陸地ニ運搬持テ運シタル者ハ一月以上一

年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下

ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條

船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ

犯スルヲ知テ制止セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百四十八條

傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シ

テ流行地方ヨリ他處ニ出外ル者ハ十五日以上六月

以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ

違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二

月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ

罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造

ノ規則ニ關スル罪 政府ノ免シテ受ケヌシテアブナ

キ品即チ火藥ノ類及ヒ人々ノ障

第二百五十條 官許ヲ得ズシテ危害ヲ生ズ可キ物品

ノ製造所ヲ創設取リ建ルシタル者ハ二十圓以上二百

圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者

ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造

所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規

則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ズ

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死

傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ

從テ處斷ス

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販

賣スル罪 政府ノ許可ヲ得ヌシテ人ノ生命ニモカハ

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ食物

ニ混和ルヲ云フシテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥シキ藥ヲ云フ

ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又

ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キ

ニ從テ處斷ス

第六節 私立ニ醫業ヲ爲ス罪

政府ノ許シテ受ケスル

第二百五十六條 官許ヲ得ズシテ醫業ヲ爲シタル者

十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ヲ云フルノ方法

ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失ヲ云フ

傷ハ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

公然表テ向キ猥褻キヲ云フ

第二百五十八條 公然表テ向キ猥褻キヲ云フノ所行

ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ

處ス

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子

草雙紙交ハ圖畫其

他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル

者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十條 賭場ヲ開張ル者ハ三月以上又博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條 財物金錢ヲ賭スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス其情ヲ知テ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス 賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之

ヲ沒收ス

第二百六十二條 財物ヲ隱集ル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ說教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ビ墳墓ヲ發掘スル罪

死人ヲ棄タリ又ハ墓所ヲ掘リカヘシタル罪

第二百六十四條

埋葬ルル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮

毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮

ニ處シ三圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十五條

墳墓ニ發掘シテ棺槨

棺ハ内ノ櫃ヲ云ヒ又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上

二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重

禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシ

未ダ遂ゲ欲ル者ハ未遂犯罪例ニ照シテ處斷ス

第八章 商業及ビ農工ノ業ヲ妨害スル罪

ノ三業

第二百六十七條

偽計ニ依リテ又ハ威力ヲ以テ

殺類其他衆人ノ需用無ケルヲ妨害シタル者ハ一月以

上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル

者ハ一等ヲ減ズ

第二百六十八條

偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣チ云フ又ハ入

九〇一

偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣チ云フ又ハ入



札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工人ノ百姓又職業者

ヲ妨害シタル者亦前條ニ同シ

第二百七十條 農工ノ雇人其雇賃ヲ云フヲ増サシメ又

ハ農工業ノ景況云フ子ヲ變ゼシムル爲メ雇主ヒ入レ

タル者及ビ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲

シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓

以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景

況ヲ變ズル爲メ雇人及ビ他ノ雇主ニ對シ偽計威力

ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十二條 虚偽リツツイツハノ風説云フヲ流布

言ヒフラメテ云フシテ穀類其他衆人需用物品ノ價直云フ昂

抵リ上ケタリ下ケタセシメタル者ハ十圓以上百圓以下

ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪 爲メタルモノカ其役義ヲ行フ

第一節 官吏公益ヲ害スル罪 役人ガ其役義ニ背キ

タル罪

第二百七十三條 官吏其管掌ノ役義上ト云ニ係ル法律

規則ヲ公布施行ス布告ヲ申シ渡セズ又ハ他ノ官吏ノ公

布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁

錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條

兵隊ヲ要求シ及ビ之ヲ使用スル權

アル官吏地方ノ騷擾云々其他兵權ヲ以テ鎮撫メ

ル者ハ三月以上

三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰

第二百七十五條

官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節

官吏人民ニ對スル罪テ國內人民ノ害ニ於

第二百七十六條

官吏擅云フニ同威權威勢ヲ用

ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕

禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十七條

人ノ身體財產ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢察官

吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ

ズル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加

第二百七十八條

逮捕官吏罪人ヲ召取ル法律ニ定メタル程式書式ヲ規則ヲ遵守セズシテ人ヲ逮捕シ

又ハ不正ニ人ヲ監禁レ置フテ牢屋ヘ入シタル者ハ十五

日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第二百七十九條

司獄官吏牢屋ヲ司ル程式規則ヲ遵守セズシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免免シ放ツセザル者ハ亦前條ノ

例ニ同シ

第二百八十條

前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者科人ニ付キソヒテ囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去取リ棄ルシ其他苛刻手強キノ所爲ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百八十一條

水火震災地震チノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

第二百八十二條

裁判官檢事及ビ警察官吏被告人ニ對シ罪狀惡事ヲナシテ陳述セシムル爲メ暴行チ叩ク云ヲ加ヘ又ハ陵虐ヲ荒ナル所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告<sup>ひ</sup>人<sup>ひと</sup>ヲ死傷<sup>しじやう</sup>ニ致<sup>いた</sup>シタル時<sup>とき</sup>ハ毆打<sup>おうち</sup>創傷<sup>そうじやう</sup>ノ各本<sup>かくほん</sup>條<sup>じょう</sup>ニ照<sup>あ</sup>シ一等<sup>いとう</sup>ヲ加<sup>くわ</sup>ヘ重<sup>おも</sup>キニ從<sup>したが</sup>テ處斷<sup>じよだん</sup>ス

第二百八十三條

裁判官<sup>さいばんくわん</sup>檢事<sup>けんじ</sup>故<sup>こ</sup>ナクシテ刑事<sup>けいじ</sup>ノ訴<sup>うた</sup>ヲ

受理<sup>じゆり</sup>スムヲ云<sup>い</sup>フセズ又<sup>また</sup>ハ遷延<sup>せんえん</sup>ククシテ打捨置<sup>うちすてお</sup>シテ審理<sup>しんり</sup>テ取調<sup>とくちゆう</sup>ヘ

フ云<sup>い</sup>フセザル者<sup>もの</sup>ハ十五日<sup>じゅうごにち</sup>以上<sup>いじやう</sup>三月<sup>さんげつ</sup>以下<sup>いか</sup>ノ輕禁錮<sup>けいきんこ</sup>ニ處<sup>じよ</sup>

シ五圓<sup>ごえん</sup>以上<sup>いじやう</sup>五十圓<sup>ごじゅうえん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ罰金<sup>ばつぎん</sup>ヲ附加<sup>か</sup>ス

其民事<sup>そのみんじ</sup>ノ訴<sup>うた</sup>ニ係<sup>か</sup>ル者<sup>もの</sup>亦<sup>また</sup>同<sup>おな</sup>ジ

第二百八十四條

官吏<sup>くわんり</sup>人<sup>ひと</sup>ノ囑託<sup>しゆくたく</sup>ヲ受<sup>う</sup>ケ賄賂<sup>わいろ</sup>ヲ收受<sup>じゆじゆ</sup>ケ受<sup>う</sup>

納<sup>な</sup>ルヲ云<sup>い</sup>フシ又<sup>また</sup>ハ之<sup>これ</sup>ヲ聽許<sup>ていきよ</sup>聞<sup>き</sup>キ入<sup>い</sup>ルシタル者<sup>もの</sup>ハ一月<sup>いちげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>

年<sup>ねん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ重禁錮<sup>じゆうきんこ</sup>ニ處<sup>じよ</sup>シ四圓<sup>しえん</sup>以上<sup>いじやう</sup>四十圓<sup>しじゅうえん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ罰金<sup>ばつぎん</sup>

ヲ附加<sup>か</sup>ス

因テ不正<sup>ふせい</sup>ノ處分<sup>じよぶん</sup>ヲ爲<sup>か</sup>シタル時<sup>とき</sup>ハ一等<sup>いとう</sup>ヲ加<sup>くわ</sup>フ

第二百八十五條

裁判官<sup>さいばんくわん</sup>民事<sup>みんじ</sup>ノ裁判<sup>さいばん</sup>ニ關<sup>かん</sup>シテ賄賂<sup>わいろ</sup>ヲ

收受<sup>じゆじゆ</sup>シ又<sup>また</sup>ハ之<sup>これ</sup>ヲ聽許<sup>ていきよ</sup>シタル者<sup>もの</sup>ハ二月<sup>にげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>二年<sup>にねん</sup>以下<sup>いか</sup>

ノ重禁錮<sup>じゆうきんこ</sup>ニ處<sup>じよ</sup>シ五圓<sup>ごえん</sup>以上<sup>いじやう</sup>五十圓<sup>ごじゅうえん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ罰金<sup>ばつぎん</sup>ヲ附加<sup>か</sup>

ス

因テ不正<sup>ふせい</sup>ノ裁判<sup>さいばん</sup>ヲ爲<sup>か</sup>シタル時<sup>とき</sup>ハ一等<sup>いとう</sup>ヲ加<sup>くわ</sup>フ

第二百八十六條

裁判官<sup>さいばんくわん</sup>檢事<sup>けんじ</sup>警察官<sup>けいさつくわん</sup>吏<sup>り</sup>刑事<sup>けいじ</sup>ノ裁判<sup>さいばん</sup>ニ

關<sup>かん</sup>シテ賄賂<sup>わいろ</sup>ヲ收受<sup>じゆじゆ</sup>シ又<sup>また</sup>ハ聽許<sup>ていきよ</sup>シタル者<sup>もの</sup>ハ二月<sup>にげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>

二年<sup>にねん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ重禁錮<sup>じゆうきんこ</sup>ニ處<sup>じよ</sup>シ五圓<sup>ごえん</sup>以上<sup>いじやう</sup>五十圓<sup>ごじゅうえん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ罰

金<sup>きん</sup>ヲ附加<sup>か</sup>ス

因テ被告<sup>ひ</sup>人<sup>ひと</sup>ヲ曲庇<sup>まがひ</sup>ル曲<sup>まが</sup>テ助<sup>たす</sup>クシタル者<sup>もの</sup>ハ三月<sup>さんげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>三年

因<sup>よ</sup>テ被<sup>ひ</sup>告<sup>こ</sup>人<sup>ひと</sup>ヲ曲庇<sup>まがひ</sup>ル曲<sup>まが</sup>テ助<sup>たす</sup>クシタル者<sup>もの</sup>ハ三月<sup>さんげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>三年

因<sup>よ</sup>テ被<sup>ひ</sup>告<sup>こ</sup>人<sup>ひと</sup>ヲ曲庇<sup>まがひ</sup>ル曲<sup>まが</sup>テ助<sup>たす</sup>クシタル者<sup>もの</sup>ハ三月<sup>さんげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>三年

第二百八十六條

裁判官<sup>さいばんくわん</sup>檢事<sup>けんじ</sup>警察官<sup>けいさつくわん</sup>吏<sup>り</sup>刑事<sup>けいじ</sup>ノ裁判<sup>さいばん</sup>ニ

關<sup>かん</sup>シテ賄賂<sup>わいろ</sup>ヲ收受<sup>じゆじゆ</sup>シ又<sup>また</sup>ハ聽許<sup>ていきよ</sup>シタル者<sup>もの</sup>ハ二月<sup>にげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>

二年<sup>にねん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ重禁錮<sup>じゆうきんこ</sup>ニ處<sup>じよ</sup>シ五圓<sup>ごえん</sup>以上<sup>いじやう</sup>五十圓<sup>ごじゅうえん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ罰

金<sup>きん</sup>ヲ附加<sup>か</sup>ス

因<sup>よ</sup>テ被<sup>ひ</sup>告<sup>こ</sup>人<sup>ひと</sup>ヲ曲庇<sup>まがひ</sup>ル曲<sup>まが</sup>テ助<sup>たす</sup>クシタル者<sup>もの</sup>ハ三月<sup>さんげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>三年

第二百八十六條

裁判官<sup>さいばんくわん</sup>檢事<sup>けんじ</sup>警察官<sup>けいさつくわん</sup>吏<sup>り</sup>刑事<sup>けいじ</sup>ノ裁判<sup>さいばん</sup>ニ

關<sup>かん</sup>シテ賄賂<sup>わいろ</sup>ヲ收受<sup>じゆじゆ</sup>シ又<sup>また</sup>ハ聽許<sup>ていきよ</sup>シタル者<sup>もの</sup>ハ二月<sup>にげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>

二年<sup>にねん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ重禁錮<sup>じゆうきんこ</sup>ニ處<sup>じよ</sup>シ五圓<sup>ごえん</sup>以上<sup>いじやう</sup>五十圓<sup>ごじゅうえん</sup>以下<sup>いか</sup>ノ罰

金<sup>きん</sup>ヲ附加<sup>か</sup>ス

因<sup>よ</sup>テ被<sup>ひ</sup>告<sup>こ</sup>人<sup>ひと</sup>ヲ曲庇<sup>まがひ</sup>ル曲<sup>まが</sup>テ助<sup>たす</sup>クシタル者<sup>もの</sup>ハ三月<sup>さんげつ</sup>以上<sup>いじやう</sup>三年

以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 其被告人ヲ陷害ル罪ニ落シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷ヲスルヲ云フシタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

第二百八十七條 裁判官檢事警察官吏賄賂ヲ收受聽許セズト雖モ情ニ徇ガロ又ハ怨ヲ挾サミ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ  
 第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受

シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ルヲ云フス

第三節 官吏財産ニ對スル罪 役人カ諸物ヲ私

第二百八十九條 官吏自ラ監守ヲ預リ守ル所ノ金穀物件ヲ竊取密カニ盜ミシタル者ハ輕懲役ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊類ヲ云フナ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百九十條 租稅年貢運上其他諸般種々又ハ色々ノ入額云フ高チヲ徵收シ取リ納ルスル官吏正數定メ通リノ外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪 此編ハ人ヲ殺シ疵

物ヲ盜ミ或ハ損フ等ノ重罪ト輕罪ヲ擧ケタリ

第一章 身體ニ對スル罪 一人ニ對シ之ヲ殺シ疵ヲ負ハ

第一章 謀殺故殺ノ罪 目論見テ人ヲ殺シ又ハ出來

第二百九十二條 豫メ前カラト謀テ人ヲ殺シタル者ハ

謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

第二百九十三條 毒物ヲ施用ルヲ云フシテ人ヲ殺シタ

ル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十四條 故意心ヲ云フ出來ヲ以テ人ヲ殺シタル

者ハ故殺ノ罪ト爲シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十五條

支解人ノ手足ヲホド折割筋骨ヲ切リ其他  
慘刻シキヲ云フノ所爲ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死

刑ニ處ス

第二百九十六條

重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又  
ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル  
者ハ死刑ニ處ス

第二百九十七條

人ヲ殺スノ意ニ出デ詐稱誘導詐稱誘  
レテ人ヲ連シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ  
以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ズ

第二百九十八條

謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタ  
ル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ズ

第二節

毆打創傷

人ヲ打チ叩テ疵ヲ負

第二百九十九條

人ヲ毆打創傷負セルヲ云フシ因テ死

ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百條

人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎ツブスシ兩耳

ヲ聾ヨ耳ノ聞エヌヤウシ又ハ兩肢手足ヲ折リ及ビ舌ヲ

斷テ陰陽ヲ所テ云フヲ毀敗ヲ云フシ若クハ知覺精神

ヲ喪失ハ知覺精神ヲ喪失トセシメ篤疾甚シキ病ニ致シタ

ル者ハ輕懲役ニ處ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢片ヤノ手ヲ折リ其

他身體ヲ殘廢クヲ云フシ癱疾ヲ云フ病ニ致シタル者

ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百一一條

人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムヲ能ハザルニ至ラシメタル

者ハ一年以上ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラザル者ハ一月以上

一年以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラズト雖モ身體ニ創傷云フヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二條

廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ

豫メ前々カラト謀テ人ヲ毆打創傷シ休業

第三百三條

重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已

ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第三百四條

毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百五條

二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自云フニ同シ

ニ其刑ヲ科ル申シ付ク若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重

ヲ知ルヲ能ハザル時ハ其重傷ヲ云フノ刑ニ照シ一等

ヲ減ズ但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラズ

第三百六條

二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ら人ヲ傷セズト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ



現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ズ

第三百七條

健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦ム病ヲ云フセシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ

例ニ照シテ處斷ス

第三百八條

人ヲ殺スノ意ニ非ズト雖モ詐稱誘導稱誘導ハダマシテ連ノ出スヲ云フシテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ヲ以テ論ズ

誘導ハダマシテ連ノ出スヲ云フシテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ヲ以テ論ズ

第三節

殺傷ニ關スル宥恕及ビ不論罪又ハ疵ナ

第三百九條

自己ト云ニ同シノ身體ニ暴行ヲ荒々敷所行ヲ受ルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル

者ハ其罪ヲ宥恕罪ヲ免ス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ

暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラズ

第三百十條

毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後

第三百十一條

本夫ヲ妻ノ夫ニテ即其妻ノ姦通密通ヲ知

姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦

通ヲ縱容スニテ云フシタル者ハ此限ニ在ラズ

第三百十二條

晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入

リ若クハ門戸牆壁ヲ踰越乘リ越ス損壞ヲコハシコトスル者ヲ防止ヲ云フスル爲メ之ヲ殺傷シタル者

ハ其罪ヲ宥恕ス

第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ズ

第三百十四條 身體生命云フヲ正當ニ防衛シタル者ハ自

己ムヲ得ザルニ出デ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タズ其罪ヲ論ゼズ但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラズ

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ己ムヲ得ザルニ出デ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論ゼズ  
一 財産ニ對シ放火ヲ付ル其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止

防キ止メルヲ云フスルニ出タル時

二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊物ヲ云フナルヲ取還テ取リ戻スルニ出タル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時

第三百十六條 身體財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ己ムヲ得ザルニ非ズシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ナニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルヲ得

第四節

過失殺傷ノ罪ニテ人ヲ殺シ疵ヲ付ル心ナク怪我

第三百十七條 疎虞そごニ氣きヲツケテ懈怠たいたいヲオコソル者もの又ハ規則きそく慣習かんじゆニ背そむク者ものハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十八條 過失くわしつニ因よテ人ヲ創傷そうじやうシ癩篤疾れいとくしやくニ致シタル者ものハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十九條 過失くわしつニ因よテ人ヲ創傷そうじやうシ疾病休業しつびやうきやうニ至ラシメタル者ものハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節 自殺じそくニ關スル罪つみ 人ニ自害じがいヲナス、メ又ハ其手傳てづチシタル罪つみヲ云フ

第三百二十條 人ヲ教唆けうさくカスチ云フシテ自殺じそくセシメ又ハ囑託ごくたくヲ頼ムコトヲ受ケテ自殺じそく人ノ爲メニ手ヲ下シタル者ものハ六月以上三年以下ノ輕禁錮けいこんニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺じそくノ補助ほすけ手傳てづヒ助ケル者ものハ一等ヲ減ズ

第三百二十一條 自己じこノ利ヲ圖リ人ヲ教唆けうさくシテ自殺じそくセシメタル者ものハ重懲役じゆうちやうやくニ處ス

第六節 擅しんニ人ヲ逮捕監禁たいほかんきんスル罪つみ 自儘じこんニ人ヲ捕とらヘ閉とチ込こメ置おク罪つみヲ云フ

第三百二十二條 擅しんニ氣儘きじん自儘じこんナドニ人ヲ逮捕たいほ捕とらヘルシ又ハ私家しかりニ監禁かんきん押込おしこメ置おシタル者ものハ十一日以上二月以下ノ重禁錮じゆうこんニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁かんきん日數にっすう十日ヲ過ル毎ニ一等いっとうヲ加フ

第三百二十三條

擅ニ人ヲ監禁見前ニ制縛任セテ擲メ取  
ルヲシテ毆打拷責ハ打チ擲シ又ハ飲食衣服  
ヲ屏去ヲ棄ルシ其他苛刻方ヲ云フノ所爲ヲ施シタル  
者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三  
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十四條

前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷  
ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從  
テ處斷ス

第三百二十五條

擅ニ人ヲ監禁シ水火震災洪水火震災ハ  
震等ノ災ノ際其監禁ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シ  
タル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第七節

脅迫ノ罪 威勢強カテ以テ人ヲ  
恐レサスル罪ヲ云フ

第三百二十六條

人ヲ殺サント脅迫レサスルヲ云フシ又  
ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者  
ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十  
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放  
火シ及ビ毀壞ヲ云フハス 劫掠ヲ云フハ取ルセント脅迫シタ  
ル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以  
上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十七條

兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル  
者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫

シタル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケ

タル者又ハ其親屬ノ告訴ヲ出ルヲ待テ其罪ヲ論ズ

第八節 墮胎ノ罪

第三百三十條 懷胎ノ罪

子ヲハラフノ婦女藥物其他ノ方法

ナ以テ墮胎ヲ下ス

重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメ

タル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者

ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十二條 醫師穩婆取リアゲ又ハ藥商

條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼迫ルヲ見セテ又ハ

誑騙ヲナスカスシテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四

年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他

暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上

五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出

タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癱篤

疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ

重キニ從テ處斷ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪又ハ病人ニ  
カ、リタル者等ヲ  
棄テタル罪ヲ云フ

第三百三十六條 八歳ニ滿ザル幼者ヲ遺棄スル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

自ラ生活ヲ暮シ方  
タル者亦同シ

第三百三十七條 八歳ニ滿ザル幼者又ハ老疾者ハ病ニ  
カ、リタル者ヲ云フ

第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ預ルヲ受ケ

保養ヲ育テ養フス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各  
一等ヲ加フ

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ癡疾ニ一生涯

病ヲニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ病ヲ云フニ致  
シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒

刑ニ處ス

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守番チ云フス可キ

地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ知テ之  
ヲ扶助ルチ云フセズ又ハ官署ニ申告ルチ云フセ

若シ疾病ニ罹リ昏倒目マヒノシテスル者アルヲ知

テ扶助セズ又ハ申告セザル者亦同シ

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪ス子供ヲ門ワカ

第三百四十一條 十二歳ニ滿ザル幼者ヲ略取レ去ルヲ

云シ又ハ誘拐行クマシテ連レシテ自ラ藏匿トナシ

若クハ他人ニ交付チ引キ渡ヌシタル者ハ二年以上五年

以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附

加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿ザル幼者ヲ

略取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ

一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ

他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮

ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 略取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ

自己ノ家屬僕婢ト爲シ又ハ其他ノ名稱トナシ

ト云フヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ

各一等ヲ減ズ

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又

ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ但略取誘拐セラ

レタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ告訴

ノ效ナシ

第三百四十五條 二十歳ニ滿ザル幼者ヲ畧取誘拐シ

テ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節

猥褻姦淫重婚ノ罪タル罪ヲ云フ

第三百四十六條

十二歳ニ滿ザル男女ニ對シ猥褻リナ

ルヲ所行チ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴

行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行チ爲シタル者ハ一月以上

一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

第三百四十七條

十二歳ニ滿ザル男女ニ對シ暴行脅

迫暴行脅迫ハ手アランヲ以テ猥褻ノ所行チ爲シタル者

ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條

十二歳以上ノ婦女ヲ強姦者合點セサル

通スルヲ云フシタル者ハ輕懲役ニ處ス

藥酒藥ヲ混シタ等ヲ用ヒ人ヲ昏睡正體ナク眠セシメ又

ハ精神ヲ錯亂ヲ云フセシメテ姦淫交合スルシタル者ハ

強姦ヲ以テ論ズ

第三百四十九條

十二歳ニ滿ザル幼女ヲ姦淫シタル

者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處

ス

第三百五十條

前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ

其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ

第三百五十一條

前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ



人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ  
重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ癩篤疾ト今ニモ死  
カウナ病ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタ  
ル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 十六歳ニ滿ザル男女ノ淫行ヲツラ  
フ云 ナ勸誘トスハメレ媒合スルヲ云フシタル者ハ一月以  
上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ  
罰金ヲ附加ス

第三百五十三條 有夫亭主ノアルノ婦姦通シタル者ハ  
六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦  
同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ但本夫先  
ニ姦通ヲ縱容スル者ハ告訴ノ効ルシナド云  
フニ同シ

第三百五十四條 配偶者持ナド亭主アル者重子テ  
婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ  
處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ビ誹毀ノ罪ト云ヒ又ハ人ノ惡事  
ヲ言ヒフラス罪ヲ云フ

第三百五十五條 不實ニ誣告シタル者ハ第三百二十條ニ記載  
シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十六條

誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問糺シ  
フ云テ始メザル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本  
刑ヲ免ス

第三百五十七條

誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタ  
ル時ハ第二百二十一條第二百二十二條ニ記載シタ  
ル例ニ照シテ處斷ス

第三百五十八條

惡事醜行ヒ見惡キ行ヲ摘發シテ  
人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ左  
ノ例ニ照シテ處斷ス

一公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以

上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇見セ物偶像云フヲ作爲

ルヲ云フシテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月

以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

第三百五十九條

死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔無キヲ  
云ニ出タルニ非ザレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スル  
ヲ得ズ

第三百六十條

醫師藥商穩婆取揚ケ婆又ハ代  
人代書人若クハ神官云フ主テ坊主  
ニ於テ委託ナルヲ受ケタル事ニ  
因リ知得タル陰

私内証ノ事ヲ漏告ト云ニ同シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラズ

第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ

第十三節

對シ元爲シタル罪ヲ云フ

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス  
其自殺ニ關スル罪ハ凡人並ノ人ノ刑ニ照シ二等ヲ

加フ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪其他監禁擧クヲ云フ脅迫ヲ云フ遺棄ヲ云フ誣告無キト有ルトハ誹毀ヲ云フノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但癡疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給ト云フニ同シセズ其他必要ト云フコトナラ奉養目上ノ者ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因

テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ  
第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ  
特別格別格段ノ宥恕及ビ不論罪ノ例ヲ用フルヲ得  
ズ但其犯ス時知ラザル者ハ此限ニ在ラズ

第二章

財產ニ對スル罪

土地家屋等ヨリ金銀米穀諸  
道具ニ關シタル罪ヲ云フ

第一節

竊盜ノ罪

金銀等ヲ盜ム罪ヲ云フ  
隱レ忍ンテ他人ノ物品

第三百六十六條

人ノ所有物ヲ竊取ムヲ云フシタル者

ハ竊盜品ヲ盜ムヲ云フ

ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十七條

水火震災其他ノ變ニ乘ジテ竊盜ヲ

犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十八條

門戶牆壁ヲ踰越シテ乘リ越ス損壞ヲ云フシ

若クハ鎖鑰錠前ヲ

開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シ

タル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十九條

二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタ

ル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十條

兇器ヲ攜帶シテ人ノ住居シタル

邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百七十一條

自己ノ所有物ト雖モ典物云フトシ

テ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守

シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ズ

第三百七十二條

田野ニ於テ穀類菜菓ヲ野菜菓物其他ノ

産物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十三條

山林ニ於テ竹木礦物所ノ中ヨリ堀リ出ス

テテ其他ノ産物ヲ竊取シ又ハ川澤生シタル所ヲ云フ

池沼湖海ニ於テ人ノ生養ルヲ云フシ若クハ營業賣

ヲ云ニ關スル産物ヲ竊取取ルヲ云フシタル者ハ亦前

條ニ同シ

第三百七十四條

牧場ニ於テ牧畜ニ養

云フノ獸類ヲ竊取取ルヲ云フシタル者ハ二月以上二

年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十五條

此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サント

シテ未ダ遂ゲザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百七十六條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ

刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十七條

祖父父母夫妻子孫及ビ其配偶者

又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ

竊盜ヲ以テ論ズルノ限ニ在ラズ

若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分ナタル者ハ竊盜ヲ以

テ論ズ

第二節 強盜ノ罪 門戶等ヲ打破リテ人ノ

第三百七十八條

人ヲ脅迫ヲ劫カフシ又ハ暴行ヲ加ヘ

テ財物ヲ強取取テ盗ミシタル者ハ強盗ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

第三百七十九條

強盜左ニ記載シタル情狀様子又ハ有

アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ

一二人以上共ニ犯シタル時

二兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

第三百八十條

強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處

シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百八十一條

強盜婦女ヲ強姦云フシタル者ハ

無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條

竊盜財ヲ得テ其取還スチ云フチ拒グ

爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ズ

第三百八十三條

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷正體モナクセ

シメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲

役ニ處ス

第三百八十四條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ

因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監

視ニ付ス

第三節

遺失物理藏物ニ關スル罪物ヲ拾ヒ又ハ

罪ヲ付テノ

第三百八十五條

遺失落シ物及ビ漂流流レタレヨノ物品

ヲ拾得テ隱匿シ置シ所有主ニ還付チ云フセズ又ハ

官署ニ申告ヲ出ルセザル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十六條

他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ヲ云フ

ノ物品ヲ掘得テ隠匿シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百八十七條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者

第三百七十七條ニ掲ゲタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ

論ゼズ

第四節 家資分散ニ關スル罪 身代限リニ付

第三百八十八條

家資分散ニ關スル罪ニテノ罪ヲ云フ

脱漏ル取リ退ケシ又ハ虚偽ノ借入金ヲ増加シ

タル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約云フヲ承諾フニ同シ若クハ

其媒介手傳ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ズ

第三百八十九條

家資分散ノ際簿帳面ノ類ヲ藏匿

毀棄ル云フシ若クハ分散決定ノ後債主ノ人ヲ中

ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償スルヲシテ他ノ

債主ヲ害シタル者ハ一年以上二年以下ノ重禁錮ニ

處ス

第五節 詐欺取財及ビ受寄財物ニ關スル罪 偽

テ人ノ金銀品物ヲ取リ又人ヨリ預リタ

第三百九十條

人ヲ欺罔シテ又ハ恐喝ヲ云フシ

テ財物若クハ證書類ヲ騙取ルカシ取シタル者ハ詐欺  
 取財ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ  
 四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ  
 偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス  
 第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄キヲ云フ又ハ人ノ精  
 神錯亂ルヲ云フシタルニ乘シテ其財物若クハ證書  
 類ヲ授與シ與ヘルヲセシメタル者ハ詐欺取財金銀又ハ品  
 物ヲ取ルヲ以テ論ズ  
 第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ  
 其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽リテ人ニ交付シタル

者ハ詐欺取財ヲ以テ論ズ  
 第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認ルヲ云フシ  
 テ販賣交換シ又ハ抵當ナキアテ典物、質ニ入ルト爲シタ  
 ル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ズ  
 自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺  
 隱チ欺キ隠スシテ他人ニ賣與スチ云フシ又ハ重子テ抵當  
 典物ト爲シタル者亦同シ  
 第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル  
 者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス  
 第三百九十五條 受寄預リ物ノ財物借用物又ハ典物其  
 他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消スチ云フシタル者



ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取取ルチ  
云揚帶持チ逃ケ其他詐欺ノ所爲アルモノハ詐欺取財  
ヲ以テ論ズ

第三百九十六條

自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ  
差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六  
月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ナ身代限リノ際此罪  
ヲ犯シタル者ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處斷  
ス

第三百九十七條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシ  
テ未ダ遂ゲザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス  
第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者

第三百七十七條ニ掲ゲタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ  
論ゼズ

第六節

贓物ニ關スル罪  
盗ミ物又不正ナル物ト知り

第三百九十九條

強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受  
ケ又ハ寄藏預リ置テ故買買フチ云シ若クハ牙保請ケ人ニ  
モノヲ爲シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ  
處シ二圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百條

前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以  
下ノ監視ニ付ス

第四百一條

詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナ  
ルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ

爲シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ  
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪人ノ家ヲ燒キ又鹿想シテ  
火ヲ出シタル罪ヲ云フ

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬キ燒  
拂フシタル者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セザル家屋其他ノ建  
造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋ル家ヲ云フ及ビ柴草肥料  
肥シノ類等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重  
懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乗載ル積ミ載セシタル船舶汽  
車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其ノ人ヲ乗載セザル船舶汽車ニ係ル時ハ重懲役ニ處  
ス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露  
積外ニ積ミタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタ  
ル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ  
二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ  
六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル

爲シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ  
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪人ノ家ヲ燒キ又鹿想シテ  
火ヲ出シタル罪ヲ云フ

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬キ燒  
拂フシタル者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セザル家屋其他ノ建  
造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋ル家ヲ云フ及ビ柴草肥料  
肥シノ類等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重  
懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乗載ル積ミ載セシタル船舶汽  
車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其ノ人ヲ乗載セザル船舶汽車ニ係ル時ハ重懲役ニ處  
ス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露  
積外ニ積ミタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタ  
ル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ  
二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ  
六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル

爲シタル者ハ十一日以上一年以上以下ノ重禁錮ニ處シ  
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪ハノ家ヲ燒キ又竊想シテ

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬キ燒

拂フシタル者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セザル家屋其他ノ建

造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋ル家ヲ云フ及ビ柴草肥料

肥シノ類等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬キ拂フシタル者ハ重

懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乗載ル積ミ載セシタル船舶汽

ス

車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乗載セザル船舶氣車ニ係ル時ハ重懲役ニ處

ス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露

積外ニ積ミタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタ

ル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ

二年以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ

六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル

者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十條

火藥其他激發タル品ノ類ヲ持チス可キ物

品又ハ煤氣井ノ瓦斯ヲ蓄ヘ置キ蒸氣罐ヲ釜ナ破裂裂ケレ

ルヲセシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞ルヲ破シタル者

ハ其故意ルヲ云フニ出ルト過失ヲ云フトテ分テ放火

失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節

決水ノ罪 河堤沼池等ノ堤ヲ崩シ水

第四百十一條

堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ閉シテ

毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂流シ失フシタル

者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セザル家屋其他ノ建造物ヲ建テ物ヲ漂

失シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條

堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦

坑ヲ中ヨリ金銀銅鐵等ヲ牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役

ニ處ス

第四百十三條

他人ノ便益ヲ便利ト云テ損シ又ハ自己ノ

便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水

利水道ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重

禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十四條

過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火

ノ例ニ照シテ處斷ス

第九節

船舶ヲ覆没スル罪 船舶ヲ覆シタ

第四百十五條

衝突ヲ云フシタル船舶ヲ覆没シテ人ヲ乗

載チ云フシタル船舶ヲ覆没シテ人ヲ乗載セザル船  
刑ニ處ス但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス

第四百十六條

前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載セザル船

船ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節

家屋物品ヲ毀壞シ及ビ動植物ヲ害ス

ル罪 家屋敷又ハ物品ヲ打毀シ及牛馬ナドヲ打殺シタル罪ヲ云フ

第四百十七條

人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル

者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ

照シ重キニ從テ處斷ス

第四百十八條

人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ビ園池ノ装

飾云フシタル者又ハ田圃ノ樊圍云フシタル者又ハ牧場ノ柵欄云フシタル者

毀壞シタル者ハ十一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處

シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十九條

人ノ稼穡田畑ニ植付ケ竹本其他需用

必ラス人々ノ入ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一月以上

六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下

ノ罰金ニ處ス

第四百二十條

土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ

毀壞シタル者又ハ移轉シタル者ハ一月

以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シ云フ乘ルシタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外フコ同シノ家畜ヲ殺シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ

第四百二十四條 人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅盡シ遺失スルシタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四編 違警罪

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上

十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九拾五錢

以下ノ科料ニ處ス

一規則ヲ遵守セズシテ火藥其他破裂ス可キ

物品ヲ市街ニ運搬云フシタル者

二規則ヲ遵守セズシテ火藥其他破裂ス可キ物品又

ハ自ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏チ云フ置クシタル

者

三官許ヲ得ズシテ烟火云フヲ製造シ又ハ販賣シ

タル者

四人家稠密 家込ヲ云フナリノ場所ニ於テ濫リニ烟火

其他火器ヲ玩ビタル者

五蒸氣器械其他烟筒 烟出シノ火竈ヲ云フハ井ヲ建造修

理シ及ビ掃除スル規則ニ違背シタル者

六官署ノ督促云フヲ受ケテ崩壊ヲ云フセントス

ル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サズル者

七官許ヲ得ズシテ死屍云フヲ解剖シキホドシタル

者

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告

セズ又ハ他所ニ移シタル者

九人ヲ毆打シテ創傷ヲ打テ疾病ニ至ラザル者

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合ヲ云フ容止云フヲ爲

シタル者

十一人ノ住居セザル家屋内ニ潛伏ルハチ云フシタル

者

十二定リタル住居ナク平常營生ヲスルト云フナリ

ノ産業ナドハ云フニ同シナクシテ諸方ニ徘徊ツク

ト云フニ同シスル者

十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇云フニ同シスル爲メ偽證

シタル者但被告人偽證ヲ云フ證據ノ爲メ刑ヲ免カレ

タル時ハ第二百十九條ノ例ニ從フ



第四百二十六條

左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上

五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢

以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍ニ近所ト云又ハ山林田野ニ於テ濫リニ

火ヲ焚ク者

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦云フ可キ

ノ求メテ受ケ傍觀ルヲ見テ居シテ之ヲ肯ゼザル者

三不熟實ヲ入ラノ菓物又ハ腐敗モノヲ損シタルシタル

飲食物ヲ販賣シタル者

四健康ヲ保護シ保テ護ルスル爲メ設ケタル規則又ハ傳

染病豫防規則ニ違背シタル者

五人ノ通行ス可キ場所ニアル危険云フニ同シノ井溝

其他凹所ニ蓋又ハ防圍圍ヒテ爲フヲ爲サズル者

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嗾カケルヲ云フシ又ハ

驚逸走ラヌルヲ驚カセテセシメタル者

七發狂人ノ看守ルヲ注意シテ守テ怠リ路上ニ徘徊セシメ

タル者

八狂犬猛獸等ノ繫鎖リヲ云フヲ怠リ路上ニ放テタ

ル者

九變死人ノ檢視ルヲ見テ受ケズシテ埋葬シタル者

十墓碑及ビ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆云フスヲシ

タル者

十一 神祠佛堂其他公ノ建造物 籍館勸工場等ヲ云フナリ

ヲ汚損スルヲ云フハ損シタル者

十二 公然人ヲ罵詈ルヲ云フ 嘲弄ルヲ云フシタル者但

訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上

三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二拾錢以上一圓二拾五

錢以下ノ科料ニ處ス

一 濫リニ車馬ヲ疾驅テスルヲ云フ 走シテ行人ノ妨害

ヲ爲シタル者

二 制止兼テナラヌトナ肯ゼズシテ人ノ群集シタル場

所ニ車馬ヲ牽キタル者

三 夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅スル者

四 木石等ヲ道路ニ堆積ルヲ云フ 上シテ防圍ヲ設ケズ

又ハ標識ヲ云フノ點燈ルヲ云フヲ怠リタル者

五 瓦礫ナドヲ云フヲ道路家屋園圍ニ投擲ヲ云フシタル

者

六 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲テケ捨ルシ又ハ取除カザ

ル者

七 汚穢物ヲ云フヲ道路家屋園圍ニ投擲テケ捨ルシタ

ル者

八 警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタ

ル者

九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應ゼザル者

十死亡ノ申告フニ同シテ為サズシテ埋葬シタル者

十一流言浮説ナキコトヲ言フテ云フヲ為シテ人ヲ誑惑

欺キ惑ハシタル者

十二妄ニ吉凶禍福ヒ禍ヒ幸ヒテ云フヲ説キ又ハ祈禱

符凶ヲ云フ等ヲ為シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

十三私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹柱

ヲ出シタル者

十四官許ヲ得ズシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キ

タル者

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ビ廁場小便所等ヲ毀

損シタル者

十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示ヲ制札ナシタル通行

禁止及ビ指道標ノ示シ札ヲ云フノ類ヲ毀棄ヲ云フ

汚損汚スヲシタル者

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘

留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

一官署ヨリ價額云フ代價ヲ定メタル物品ヲ定價極メテ

以上ニ販賣シタル者

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ

取り又ハ故ナク通行ヲ妨ゲタル者

三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サズシテ通行シタル者  
四路上ニ於テ賭博云フニ類スル商業ヲ爲シタル者

五官許ヲ得ズシテ劇場芝居ヲ其他觀物場屋ヲ云フ者  
開キ及ビ其規則ニ違背シタル者

六溝渠小キ溝下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促云フ者  
受ケテ溝渠下水ヲ浚ハガル者

七制止ヲ肯承知スルゼズシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列並べ建ツシタル者

八官許ヲ得ズシテ獸類ヲ官有地ニ放テ又ハ牧畜ヒ畜

育テルシタル者

九身體ニ刺文身體ノ彫リヲ爲シ及ビ之ヲ業トスル者  
十他人ノ繫ギタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シ云フ者

タル者

十一他人ノ繫ギタル舟筏ヲ舟ヤ筏ヲ解放シタル者

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上

五十錢以下ノ科料ニ處ス

一橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ル可キ場所ニ舟筏ヲ繫ギタル者

二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積高ク積ミ上シテ行人ノ妨害邪魔ヲ云フ者爲シ